

「Like A Rolling Cake」

堀川 弘幸



はじめに

本書は北海道にある蘭越町という町の在住者や所縁のある人が様々なテーマで本を出版し、町のPRを行うという企画の一環で書かれたものです。蘭越町の世帯数の1%（約二十四人）が各々自分でテーマを決めて原稿を書き、出版します。グルメや観光、写真集などテーマはかなり自由で、なぜか僕のような人間にも出版依頼があり「何を題材に書けばいいんだろう？」と考えましたが、僕が蘭越町商店街にあるお店の後継者として今現在暮らしているので、当初はまちの商業発展の歴史や現状を題材にしようと思っていました。がっ！しかし！いざ書き始めてみると商業や商店街の資料も十分とは言えず、原稿を書く時間も限られているため、結局「自分史」の内容になってしまい、更にページ数を稼ぐために過去に酔っ払って書き溜めたmixy日記を載せるというウルトラC級の禁断の秘技を使ってしまうました。

この本は小さな町、蘭越町に暮らす創業100年の菓子屋の一応4代目の僕が、自分のこれまでの人生を80%くらい赤裸々に振り返り（誰も知りたくないだろうけど）、少しだけ蘭越の歴史や街の紹介を入れながら、この地で蘭越町民として、菓子屋の後継ぎとしてどんな暮らしを送っているのかを書き記したものです。

「mixy日記」は8年前東京に住んでいた時からたまに書いていたもので、ただの酔いどれ日記に過

ぎず、自分で読み返しても「お前、何様だよ！」と自分で突っ込みたくなるものもあります。

でもほとんどそのまま掲載しています。

作文や日記くらいしか書いた事の無い素人が書きあげた稚拙な文章で、曲がりなりにも本として出版される事はこっぴどく、痛恨の極みであります。

— この本を、もがき続けて、それでもなんとか生きてきた「自分」に捧げます — 「痛っ！」

蘭越という町

人口；平成25年12月末現在 約5100人

後志総合振興局管内の南西部に位置し、周囲をニセコ連峰等の山岳に囲まれた盆地を形成しており、町の中央を道南最大の河川「尻別川」が東西約30kmにわたり貫流し、日本海に注いでいる。また、その流域に広がる平坦地は、肥沃で水田の耕作に適しており、ここで生産される蘭越米は良質美味で道内外で好評を得ている。気候は比較的温暖であるが、冬は積雪量が多く、特別豪雪地帯に指定されている蘭越とは、アイヌ語の「ランコ・ウシ」が訛ったもので、桂の木の多い所という意味。

(蘭越町ホームページより)

札幌から車で2時間、函館までは3時間弱、伊達市までは1時間強、倶知安までは30分の地理的条件。盆地のため夏の最高気温が北海道で最も高くなる日もあり、冬はマイナス20℃を下回る事は滅多に無いが、1月、2月は0℃〜マイナス10℃の日がほとんど。倶知安ほどではないが、雪もドカドカと降る。山形や新潟で車を運転していて外気温計がマイナスを示す事は滅多に無かったが、北海道に戻って普通にマイナス6℃とか表示されるとビビる。今だにビビる。冬は極力、車で出かけたくないです。函館から札幌までは、JRで来ると長万部駅で函

館本線と室蘭本線に分岐されます。室蘭本線は特急列車や本州からの貨物列車のルートとなっている一方、函館本線は単線のいわゆるローカル線で長万部駅から小樽駅まで各駅停車(蘭越駅はその中間位に位置する)のみの運行です。

しかし、鉄道としての歴史は函館本線の方が古く、昔は沿線が栄えていたようですが、地形的に急勾配や急曲線が多く、室蘭本線経由は三〇km以上遠回りにも係わらず、札幌までの所要時間も短縮できるうえに沿線人口にも恵まれていたため、一九八〇年代に函館本線が廃れていったようです。蘭越町には町内に目名、蘭越、昆布の3つのJRの駅が現在もあり、町の繁栄とも深く関わっているようです。(後述)

2015年には新青森と新函館(仮称)間の新幹線が開業します。更には函館―札幌までの新幹線延伸、着工が決まっています、2035年開業予定との事。驚くのはそのルートで、函館―札幌間は今の室蘭本線経由ではなく、函館本線経由でほぼ決定しているようです。

誘致活動など、様々な事情があるとは思いますが、要は昔30km以上遠回りのハンデがあったにも係わらず、室蘭本線は函館―札幌間のメインルートを勝ち取った。しかし「新幹線」というスピード、分単位の時短が宿命のような存在には、30kmの距離の不利を埋められない。

逆に言うと、より早く札幌まで行くためには地形の不利を今の日本の技術でカバーしてしまえるんだ、と素人は思いました。

函館本線が北海道新幹線のルートになる事は蘭越町民としては手放しでは喜べず、むしろ懸念されて然

るべきだと個人的に思っています。恐らく北海道新幹線(函館本線経由)が開業されれば、停車駅は「長万部」「倶知安」「余市」「小樽」「札幌」となり、今の在来線は廃止。良くて第三セクターで鉄道存続、最悪廃止と相成ります。その事による経済ダメージなんて予想も出来ませんが、ただでさえ高齢化が進み、車を自由に運転してあるけない人の割合が増える一方なのに、町の衰退を加速させる大きな要因となると思います。(鉄道の発展ととに町が栄えてきたのと全く逆の現象)

本州に住んでいた時は冬の実家への帰省はJRを利用していました。津軽海峡を青函トンネルで渡り函館から長万部へ。長万部から外の景色はこれまでとは別世界になります。とにかく雪の量が凄い！鈍行列車に揺られ、白樺が生い茂る一面の銀世界をみると、ああ、実家に帰って来たなあという実感が毎回沸いていました。

「蘭越」ってどんな町？もし、こんなざつくりとした質問をされたら・・・

- ・山も川も海も湖も田んぼも森も山もある自然豊かなところ
- ・温泉と「らんこし米」で有名
- ・飲べえが多い
- ・「ひとつこ」がいい人の割合が多分、多い

特に蘭越町内から見える様々な形の山が連なるニセコ連峰と蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山(特に残雪の頃は絶景です。ニセコ町まで行ってしまうと山が近すぎるし、目名峠を越えてしまうと見えなくなります。個人的な町内観測ポイントには蘭越市街地外れにある八幡神社からの眺めと名駒地区にある「フィッシュアンド名駒」付近からみる景色。蘭越町から見ることの出来る限定の景色です。

蘭越あるある (世代による)

あるあるその1 「らんこし時間」というのが存在する。

↓オフィシャルな集まりを除き、特に飲み会などは時間前に行くと思われるので行かない。約束の5〜10分後くらいに行くのがベターである。

あるあるその2 冬に開催される町民ミニバレーボール大会で「町内にこんなに若者がいるんだ！」とビックリする。

↓勿論人口が五千人いるのだから、若者も一定の割合で存在するのは頭では分かっていても、目の当たりするとちよつとだけ嬉しくなる。

あるあるその3 かなりの確率でバンソウコウの事を「サビオ(ヨ)」という。

↓類似あるあるとして、食器洗剤の事を「ライポン」という、などがある。

あるあるその4 町内を通る国道5号線沿いに何故かボーリングのピンが立っている。

あるあるその5 正午のサイレンがやたらうるさい

↓蘭越小学校横にあるサイレン塔から毎日「ウウウウツ」と鳴る。ちなみに朝六時には蘭越町歌(なかなか複雑なリズム&ハーモニーを奏でている)、夕方6時(冬場は四時半)に「カラスなぜ鳴くの」が流れる。夜9時にも「おやすみ」系の曲(曲名不明)が流れる。こちらは抑え気味の音量。

あるあるその6 春の残雪の頃、ニセコ連峰に「ニワトリ」が現れる。

↓ニセコ連峰のひとつ「チセヌプリ」の残雪の形が「ニワトリ」になる。完成度はかなり高い。但し9時の方向を向いた「置物のニワトリ」である。

あるあるその7 秋にはSLが走っている。

↓毎年9月から11月の土日祝日の期間、札幌・蘭越間でSLニセコ号が運行している。ちなみに昔は函館本線でもSLが走っていたとの事。

あるあるその8 4年に1度、町民大運動会というのが開催される。

↓町内の地区ごとにし烈な争いが繰り広げられる。

蘭越の商工業と商店街のあゆみ

蘭越町商工会設立30周年記念誌「三十年のあゆみ」（平成7年12月刊）には以下のように記されている。

「商工業の起こりと商工会のあゆみ」

開墾が進んで農家がだんだん増えてくると、それに目をつけた商人は、さっそく行商を始めた。縫い糸、針、たばこのようなこまごましたものから、石油、ランプのホヤなどを持って1軒1軒まわって歩いたが、これは開墾で忙しい農家には、とても都合の良い事であった。――

これは明治20年頃の話のようです。当時の尻別（現在の蘭越）や本目名（現在の目名）では行商から始まり、日用雑貨、呉服、木材、米穀から、旅館業、生命保険まで多岐に渡る商いがされていたようです。

明治15年には既に尻別には60〜70戸を数える市街地が存在していたようです。また明治34年には北海道における漁業の主要拠点として今の港地区には英国船などが入港、更にはニシンの大量も続き海側の発展もあったようです。

一方内陸側では明治37年に函館鉄道が開通し、現在も存在する「目名」「蘭越」「昆布」の3地区に

駅が設けられ、駅を中心とした市街地が出来てそれぞれ栄えていったようです。

蘭越は集落が分散している町で、JRの駅がある「目名」「蘭越」「昆布」、2kmだけだが海岸線を有し、そこには「港」地区がある。他に「三和」「名駒」「御成」などの地区がある。

「らんこし米」は近年、北海道内でもブランド米として知名度が高く、札幌のデパートなどで販売されている農家の方もいます。また地区によって米の品質や味に違いがあるようで、「どこどここのなになにさんのお米」と指定して購入する消費者もいるようです。

実家に戻って商売をして実感したのは農家が忙しくなると、お店が暇になると、ということ。

もちろん農家の方ばかりがお客様でもないし、季節の関係もあるとは思いますが。

そう考えると、昔も今も町の経済の構造は大きくは変わっていないのだろうと思います。

菓子屋の4代目

うちのお店は蘭越町の蘭越駅前商店街の一角に店を構えている。創業は大正元年で僕のひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんがお菓子屋を開いた。小学校の頃まで家は、祖祖父母、祖父母、父母、姉、僕の8人家族だった。小さい頃の夕食はキッチンから人数的にハミ出るので、姉と僕は別に茶の間で「ド根性ガエル」や「エースをねえ」を見ながらご飯を食べていた記憶がある。

共に95歳まで長生きした祖祖父母。ひいじいちゃんは元々今の福島県相馬市の生まれ。ひいばあちゃんは石川県の能登出身の母親が今の泊村でひいばあちゃんを産んだらしい。晩年ボケてしまったひいじいちゃんの話から何度も「おおみかむら」という地名が登場したらしい。きっとそこで生まれ育ったんだろう。北海道へ渡ってきたのは福島でも菓子を作っていたが思うように商売が軌道に乗らず、知人の勧めで内地(本州)からこの地へ来たらしい。当初は今の豊浦町で店を構えるつもりだったらしいが、鉄道が通っていたという理由から函館本線沿いの「蘭越」の駅前に店を構えることにしたらしい。当時の「信用貸し」で借金をして家を建て商売を始めたそうだ。

その後継ぎである祖父は小樽の老舗和菓子屋(現在は廃業)へ若くして丁稚奉公へ出され苦勞して修行を積んだ人だ。今でも店の主力商品である「雪饅」を考案、開発した昔かたぎの職人だった。

「雪饅」はだいぶ過去に遡るが、全国菓子博覧会でも2度賞をいただいた和菓子で、中のホロホロの白

餡と外の香ばしく厚めに焼き上げられた和洋折衷のお菓子。当時としては和菓子には珍しく、ブランドーやバターなどの洋菓子の材料も使われている。

祖父はお酒の大好きな人で、日本酒の一升瓶は3日も持たなかったはず。毎晩夕食の席では「独演会」が始まり、苦勞した昔の話や過去の出来事を面白可笑しく話してくれ、いいだけ喋ると、「十二分にいただきました」と言って夜7時前には寝てしまっじいさんでした。

3代目の後継ぎとなる僕の父は3兄弟の長男だったため、半強制的に高校卒業後に東京にある「東京製菓専門学校」に進み、祖父の思惑もあり卒業後直ぐに実家へ戻り洋菓子をつくり始めたようです。

4代目の後継ぎの資格を幸か不幸か持つ僕は、後継ぎなんて嫌だ、と小さい頃から実は思っていた。両親からは家業を継げと言われた事は一度もない。小さい頃から「お前の好きな道に進みなさい」と言ってくれていた。亡くなった祖父も「独演会」の席で常々「お前の好きな道に進みなさい」と両親の教育方針に理解を示してくれていた。

だから後継ぎのルールを敷かれている人に比べれば恵まれた環境で理解のある家族の中で育ててもらえた事は幸せだった。でも家族以外の周りの人は後を継いで当たり前、という感じで接して来たり、話をされたりして、無言のプレッシャーみたいなのはずっとあったし、そういう周りの人にはデリカシーのない人だと子供ながらに思い、苦笑いで返すしかなかった。

結果的に今は実家で働き始めてから5年が経つ。

最近テレビでみたお笑いコンビの漫才で、「ズルイズルイ。なんだかんだ言って結局最後は実家の家業を継ぐヤツくらいズルイ」という掛け合いがあったが、その言葉に「俺がそうだよ。悪かったな!」とつつこんでしまった事は、誰にも言えないから、ここにこっさり書いておく。

大学時代

高校時代と2年間の浪人の期間はアンダーグラウンドに生きていたので、心はすっかりやさぐれていた。というより劣等感の塊が僕の全身を包んでいた。大学への進学は決まったものの知らない土地の仙台に行くのも不安があった。

宮城県にある東北学院大学の工学部にかろうじて入る事が出来、多賀城キャンパスに4年間通った。工学部だけ仙台市内のキャンパスへ通う事は一度もなく、華やかなキャンパスライフは叶わぬ夢だった。姉も私立の文系大学で、実家も厳しい状態だったので、日本育英会の奨学金を4年間お借りした。更に生活費を稼ぐため、4年間大手スーパーの食品配送センターでアルバイトをした。4年間、テストの時間以外は月に20日以上出勤していたのでオレンジ社員というのになり、やめる時には1ヶ月分くらいの有給休暇がついていた。住んでいる所から比較的近く(と言ってもチャリで30分)、時給もその当時でもかなり良いほうだった。2年間は、土砂降りの雨の日も、冬のクソ寒い日も、帰り道ヤンキーにカツアゲされそうになった日も、チャリコンコで片道30分ペダルをこぎつづけた日々。

4年間同じアルバイトを続けられたのは時給が良かったのもあるけど、本当に気の合う友達に出会えたから。冒頭にも書いたが、心が内向きになっていた時だったし、自分から友達になれるタイプでもない

し、人見知りだし。だけどそんな時期に生涯一の親友に出会った。「彼」は大学は同じだが学部も違うし、僕が2浪しているため年は1コ下なのに、学年は1コ上。同じアルバイト先だったけど生意気そう
で第一印象も最悪。でもそののち、ほっといたら8時間も平気で長電話するような仲になるのだけれど。

「彼」と僕を含め男4人、女2人はそのアルバイト先で知り合い、とても気が合った。男はみんな偶然
同じ大学(学部や学年は違うけど)、女の子は専門学校とフリーターの子。皆、頭のアホレベルの波長が
合ったのだろう。暇さえあれば僕のアパートで夜通し飲んでいた。彼らに出会って自分らしさを取り戻
せたというか、中学までは普通に友達と楽しく接していた当たり前の事を出来るようになった。東日本
大震災前の秋に親友の「彼」が結婚するというので仙台に皆で集まった。6人全員で会うのは10数年
ぶり。あいかわらずアホレベルは一緒。漫才の様な掛け合いがずっと続き、披露宴で一緒の席だった新
婦側の友人たちは「なんだコイツら」と思っていたに違いない・・・。

「親友の彼」とは沢山飲んだし、沢山長電話をした。当時仙台では朝の6時から「一休さん」が放送さ
れていて、テレビで「一休さん」がはじまると、「じゃそろそろ電話切るか」という感じ。更に長電話
はエスカレートして、朝8時にはじまる「ポンキッキーズ」で「ジャカジャカじゃんけん」をして電話
を切るといふ、体たらくぶり。水割りのグラスを持ったままロフトの階段から転げ落ち、流血しながら
電話してた事やお互いに家の台所で鮭を焼きながら電話してたことも。アホな事してました。面と向か
って多分言った事はないけれど、彼には本当に感謝している。

社会人

大学卒業後、株式会社MEITECという技術系派遣会社へ入社。当時全国で4000人くらいの社員がいて、僕の同期入社も1000人くらいいたと思う。ま、だから僕のような人間でも入社できたのだらうけど。入社式は新宿のオペラシティーでクラシックの生演奏つきのものでした。入社後研修のため名古屋にある会社の寮に移り派遣先の企業が決まった人から順次それぞれの勤務地へ引っ越していく。

僕は有難いことに1社目は面接で落とされてしまったが、直ぐに次の企業を紹介され運良く業務につき事が出来た。山形県の酒田市にある半導体を開発、製造している会社で、結局酒田では5年半勤務しました。その会社は新卒の正社員の方と分け隔てなく派遣で新卒の僕らにも同じように、新人研修や教育を行っていたくれました。5年半の勤務の期間中もずっとそういうスタンスでした。だから最初の派遣先がその会社で良かったと本当に感謝しています。

酒田での業務終了後は新潟にある企業での業務が決まっていました。半導体のシリコンウエーハを製造している会社で2年半お世話になりました。

高校の頃から漠然と「ずっと同じ会社にいるより、何社かで仕事をしたい」と思っていたので、なんとなくでも自分の進みたい方向へ行っていたのかな、と今にしてはそう思います。

「七つ半」

2008年02月27日 06:03

山形県酒田市に5年半、住んでいた。

最近CM(「やずや」と「JR」)で流れているのを見て、とても懐かしくなりました。

酒田は山形県でも日本海に面していて、隣の市である鶴岡市などと「庄内」地区をなしています。

はっきりいって陸の孤島的な地理的条件にあります。

だって同一県内の県庁所在地、山形市まで車で2時間位、秋田市まで2時間、仙台まで3時間。新潟まで3時間。高速道路も山形市方面以外整備されてません。しかも山形市へ通ずる高速道は「月山」という、7月にスキー場がオープンするような雪深い難所を通ります。途中、一旦一般道を走らねばならないし・・・

そんな酒田市は全国的には「庄内平野」で有名だと思います。

そう、小学校?のときに習ったであろう、あの「庄内平野」。

ちなみに車の「庄内ナンバー」は日本一登録台数が少ないそうです・・・
・・・俺の車は・・・「庄内」ナンバー!!

またNHKドラマ「おしん」の奉公先の地で、「おしん像」は昔は酒田駅、現在は観光名所「山居倉庫」にあります。

なんて、ここまで書いてきた内容だと酒田の人に怒られそうですが・・・

僕は酒田をととても愛しています。

ほんとにいい街だと思います。

1. 人があたたかい。
2. 街全体に気品がある。
3. 食べ物が美味しい。

4. 観光名所が多い。

5. 道路が広い

何より気取らない人たちがとても温かいです。

方言がすごくて、「～せねばのうー」とか「んだのうー」とか。

でもどこか、皆誇りに満ちているというか、言葉づかいから「気品」が感じられるんですね。標準語も TPO で使い分けてるんです。そこが素敵。

歴史的背景は詳しくないんですけど・・・

「北前船」が行き来する貿易港のため、京文化の名残があるまちだと思います。だからなんとなく街に気品が感じられるんだと思います。今でも舞妓さんがいる料亭などありますから。

そしてなんといっても食べ物が旨い！！！！

特産品を挙げるなら・・・

寒鰯、岩ガキ、庄内米、剥きそば、どんがら汁、酒田ラーメン、平田牧場の豚、等々・・・

とにかく食材が豊富だしお店もレベル高し、です。

割烹から、居酒屋、小料理屋、すし屋、焼き肉屋、とんかつ屋、ラーメン屋、和菓子に至るまで。

近隣(山形や新庄)はそばが美味しいし。

僕が食に対する執着が芽生えたのも、酒田に住んでいた影響が大きいです。

道産子なので、美味しいものはそこそこ食べてきたと思いますが、その土地によって食文化があるという事を、思い知らされました。その中でも「七つ半」という小料理屋さんは、マイ・フェイバリット・飲み屋。

失礼ながら、外見は限りなく下町にありそうな、古ぼけたお店。

ガラス戸が割れていて、応急処置をしてるような外観。

店内は狭く、カウンター8席、座敷15人程度。

けれど、刺身、焼き物(自分で炭火で焼いて食せる)、煮物、ご飯もの、などでてくるもの全てが旨・旨です。(ダシ巻き卵が絶品！)

刺身は酒田の市場からマスターがその日、仕入れてくるため新鮮。

日本海ならではの魚が食べられます。(ウズラ、トクゴロ等・・・)

刺身以外の部分は焼きものや煮物で提供してくれます。

日によっては品数少ないですが・・・

焼き物は山形牛、山芋、イカの肝和え焼きなど種類豊富。

ご飯は鯛めしが絶品です。

その他月山竹、フグの身、白子の天ぷら等の旬でしか味わえないものも、安めの値段で旨い！

(病気で胃の大半を切除した上司も、あまりの美味しさに食べ過ぎで悶えてました・・・)

そしてなにより、店主ご夫婦の接客が素晴らしい。

ここのお店は料理6割、人情4割くらい。

必ず、料理の説明を女将がフルトリーにしてくれます。

でしゃばり過ぎない接客がとても素敵です。

このお店は忘れられなくて、去年心が病んでいた時、東京からレンタカーを借りて、わざわざ酒田まで食べに行きました。

いろんな意味で心惹かれる、学ぶべき事が多い名店です。

などと・・・

熱く語ってしまいましたが・・・

酒田・・・。いい街です。

ほんとに離れてみて、つくづくそう思います。

酒田・素人PR大使より。

あー、無性に北海道の西山製麺の麺が食べたあーっ！！

ラーメンは・・・

麺は西山。

スープはどちらかというと動物系の中華そば系。

具はホウレンソウ、チャーシュー、メンマ、ナルト、ネギ。

海苔は風味が味を邪魔するから、邪道ううー！！！！

今日、中華そばを求めて、彷徨う覚悟・・・

本日の BGM ; 「CIRCUS // ERIC CLAPTON」

脱サラして学生になる

33歳になる年に8年間勤めた会社を辞め、東京の国立にある製菓学校「エコール辻東京」に入学した。新卒でMEITECに入社し、山形県の酒田での5年半の業務が終了し、新たに新潟での勤務が決まっていた。酒田を離れる時に「パティシエ」の道に進む事を自分の中で決めていて、資金を貯めるためあと数年会社で頑張ろうと思った。幸い新潟の派遣先は給与面の契約内容も比較的良く、残業代もつけられたので2年半でそこそこの蓄えが出来た。上司である人事課長に辞職を申し出た時、課長から「お花屋」や「お菓子屋」になりたいと言うのならともかく、もう一度考え直さないか？と言われたので、「課長、すみません・・・そのままかのお菓子屋になりたいんです・・・そのあと2人で苦笑いをし合い、最終的には、それなら仕方ないね、と言って頂いた。

その当時は新潟に住んでいたのも、軽い気持ちで、新潟県内にある製菓学校に通おうと思い、休日を利便して学校の体験入学や説明会に参加してました。そのなかのある学校の学園長さんが僕に直々に、「脱サラして本格的にパティシエになりたいなら、東京の製菓学校へ行ったほうがいいですよ」と僕が30歳を超えていた事もあり、そうアドバイスしていただいた。それまでは東京へ出る事なんて全く考えてもいなかった。会社の研修や出張でたまに東京には行っていたが、田舎者の僕は電車に乗るだけでなんだか怖く、こんなところ人の住むところじゃないと、本気で思っていた。

そこから少し考えを改め、「東京の製菓学校を見てみるだけ、見てみるか」そう思い、高速バスに乗り父の通った「東京製菓専門学校」と「エコール辻東京」という2つの学校に絞り、体験入学と説明会に参加した。「エコール辻東京」は社会人の方の入学も多く、実際に卒業してケーキ屋さんを営んでいる方の本なども読んでいて、自分なりに良さそうな学校だと以前から思っていた。体験入学では実習室で「オムレツケーキ」を作り、説明会では学校の実習風景を見せていただいたのだが、そのあまりの迫力に、恥ずかしながら「凄い！」と驚いた。先生たちはとても厳しく指導しているし、生徒達もキビキビ動き、テキパキと実習に取り組んでいる。学校というより実際の職場で働いているような雰囲気だ。それまで実家がお菓子屋にもかかわらず飲食店でアルバイトをした事もなく、正直凄い衝撃を受けた。料理教室なんてものとは全然違う。

学校の資料も貰い、お菓子のお土産までいただいて、校舎を後にする時には僕の気持ちは既に固まっていた。「この学校で学びたい」

アラサー、製菓学校へ通う

そういうわけで、会社を辞め、大学入学時に本州へ行く時もそうだったが、ちよっぴり自分の殻を破り、東京へ引越し、1年間の学生生活が始まった。学校は国立市にある。文教地区に指定されている事もあり街の佇まいや景色などどこか上品な感じがする。国立といっても学校の最寄駅はJR中央線の国立駅ではなく、JR南武線の谷保という駅。とてもどかな所です。(笑)

入学した時は33歳だったから、若い子達に混じって学校に通う事が不安でしょうがなかった一方、なんだか凄く開放的な気持ちでワクワクしている自分もいた。

1クラスに60人くらいいて、6クラスもあった。高校卒業したばかりの人がほとんどだが、僕みたいな社会人など20〜40代の人もいた。カリキュラムにはフランス、ドイツ、ウイーンなどの洋菓子と製パンが含まれている。授業は座学の講習と実際にお菓子やパンを作る実習に大きく分けられる。

座学講習は食品衛生やフランス語、卵や小麦粉など材料について学ぶ講習と先生が実際にケーキやパンを作っているのを見ながら学ぶ講習がある。実習は週に1〜2回あり、実習前の授業で先生が実際に生徒が作るお菓子を作りながら、作業の段取りや進め方を説明してくれる。1班10人くらいの6班に別れ、実習当日の役割分担や作業の順番や流れなどを決め、「工程表」をつくる。実習は半日か、1日のものもあり、時間的にかなりタイト。だからきちんと実習に向けて各自が予習していかなければ班全体に迷惑がかかるし、質の高い実習にはならない。勿論先生にも怒鳴られる。まさに実践さながらの授業

で本当に僕のような「初心者」にとってはためになる授業でした。

エコール辻東京での1年間は本当に集中して授業を受けていた。実習では器用になんでもやってのける子が沢山いるなかで、つくづく自分の不器用さとセンスの無さを自覚した。

先生が実際にケーキを作るのを見ながら学ぶ講習では年間200種類を超える伝統菓子などのガトー達の作り方を学んだ。

授業ではフランス語で書かれたルセット(レシピ)の紙切れ1枚だけが配られるだけ。だからどんな事でもこと細かくノートに書きとめた。作り方は勿論、先生の動作、生地の状態や細かなポイント、道具の使いこなし方に至るまで。ほとんどのガトーは最後に試食も出来たので味の感想もメモした。

もし家が家事になっても、学校のルセットと書きとめたノートは真っ先に持って逃げる。それほど僕にとっては大事なものです。

授業の試食を通してひとつ勉強になった事は、人間の味覚は大体みんな同じじゃないか、と思えたこと。ケーキだからみんな喜んで美味しいといって食べるのだが、たまに突き抜けてダントツに「甘い、と思うガトーがある。それで周りの反応を観察していると、だいたいみんな同じ反応をする。「んー！これメチャ旨い！」当たり前的事と言われるかも知れないけど、同じお菓子の世界を志す人たちのそういう反応を体験し、自分の味覚を信じていいんだと思えた。

にんじん

2006年04月12日 18:14

本格的に授業が始まった。

こんなに集中して講義を受けたのは何年ぶりだろうか。

記憶している限り、過去に身を入れて学んだのは、去年の色彩検定試験の時と中学の時に親に学内 Top5 に入ったらコンポを買ってやると、にんじん作戦にノットした時くらいか？大学受験の時すら身を入れて勉強した記憶が・・・

要するに怠け者。本当に必要と思える事以外、本気になれない自分・・・と言いつけてみる。

生涯かけて本気でいられそうな道を歩き出せた事に今は感謝。

目の前ににんじんはぶら下がってないけどね。

この集中がずっと続きますように。

【 本日のBGM// Bryan Adams;I will Always Return】

京橋にあるパティスリー イデミ・スギノへ行ってきた。

元々神戸にあったお店だが'02年から東京へ移転したお店だ。

実は先週も行ったのだが、13:00の時点で生菓子は全て売り切れの状態。今日は開店前に並んだが、お目当てのクープ・ド・モンド受賞作のアンブロワジーにはありつけなかった。

それでも別の生菓子をサロンで食べていたときちょっとしたサプライズが。

杉野氏本人がサロンへ出てきてパンフレットを配り始め、僕も直接手渡されてしまった。でもきっと怪しまれただろう。だって周りにはカップルか女性同士なのに、男一人でいるのは僕だけだ。

芸能人ではないがTVで見ていた人なのでミーハーで田舎者な僕は舞い上がる。隣にいた女性はサイン貰って記念写真撮ってたけど。とても気さくな感じの人だった。

生菓子は2個食べたが、甘いというより上品で洋酒が効いた大人の味（食べたのがムース系だった事もあると思うけど）

神戸の時から行列の出来る店（そりゃそうだ。本場のお墨付きだもん）だったらしけど、TVに出たことで更に凄いことになっているみたい。元々毎日売り出す量が少ないみたいで、午後には売り切れるし、一人6個までしか買えないし、サロンでしか食べられない生菓子もある。ちょっと午後にケーキ食べに行こうかしら、なんて言ってる場合ではなく、正直初回行ったときはお菓子ってなに？うーん、と考えさせられた。けれど今日実際に食べてみて思った。よいものは手に入りにくいという当たり前の事を。とても独創的でこだわりがある作品だからこそ、そう多くは作れないのだろう。

今度こそ、アンブロワジー

次行くときは一番にならんで食ってやる。

待っててね、アンブロワジー

二宮くん

2006年04月30日 00:46

2年位前の倉本聰のドラマ、「優しい時間」に漂う質感がとても好きだった。ドラマの展開としては起伏に乏しい反面、登場人物の「優しさ」が感じ取れた。平原綾香の「明日」といい、寺尾聰の渋さといい、何より二宮和也の存在感の凄さが見事にマッチしていて個人的にはなんだかとても癒されるドラマだった。

先日クラスメート(32歳には新鮮な響きだ・・・)に『青の炎』という映画を紹介され、完全犯罪、二宮和也というキーワードで早速みたのだが、ここでも彼の含みのある演技は健在だった。

単に雰囲気似ているというだけで、昔、松田洋治という『家族ゲーム』や『炎の犬』に出ていた俳優を思い出す。

何を言いたいのかと言うと、二宮くんはとんでもない役者になるんじゃないか、と個人的に勝手に思っている。

松田洋治は陽という感じはしなかったが、二宮くんはジャニーズだけあって陰も陽もこなせるのだろう。

はっきりとどこがとは言えないのだけれど、二宮くんは凄い、と思うこの頃。

【本日のBGM//平原綾香；明日】

HYSTERIA

2006年05月03日 00:10

ちょっと大げさに言うと、僕の物事に対する価値観を変えたのが DEF LEPPARD というバンドの『HYSTERIA』というアルバムだ。小学校高学年でチェッカーズ、安全地帯、中森明菜等（ザ・ベストテン全盛期？）で音楽に目覚め熱中するが、中学の時 AXIA のカセットテープの CM で流れていた BON JOVI の『Livin'On A Prayer』という曲に衝撃を受け、洋楽にのめり込む。

以降 FM 誌、洋楽誌を読みあさり、主に HR/HM に傾倒していく。その中で『HYSTERIA』というモンスターアルバムに出会う。世界的に売れていた。でも初めて聴いた感想は、何だこのヘンテコな音楽は？違和感あるなあー、だった。

そのまましばらくラックに眠っていた時期もあったが、いつしかヘビーローテーションで聴く事になるアルバムとなった。

洋楽を聴き始めて 20 年近く経つが、そういう体験がちょこちょこ、未だにある。要は自分の脳が西洋人の作り出す感性に即座に追いついていけないんだろう。

大好きな PEARL JAM の『Vs』にしたって購入後 2 年はラックで眠っていた。

とっつき難いものに、実はいいものが潜んでいる。

日本人好み？のガムのような楽しみに加え、するめを味わうような奥深さを、『HYSTERIA』は教えてくれた。

本日の BGM; 『GUNS N'ROSES // PATIENCE』

鼓膜律速

2006年07月17日 01:45

車で日本縦断したほどのドライブ好き。

運転しないこと早、三ヶ月半。

そろそろ禁断症状が出てきた。

最近の情緒不安定な状況と相まって、音楽ががんがんかけて旅に出たい。家でヘッドフォンで音楽聴いていても、鼓膜律速で心の要求する音量に達しないしね。

ということで明日レンタカーを借りてドライブで出かける事にした

シェリル・クロウ、ブライアン・アダムス、パールジャム。

夏だし、ビーチボーイズも聴いてやる。レッチリだって、クラブトンだって、アドレナリンを放出させてくれるCDは取り敢えず全部携帯していく。

さて12時間でどこまで行けるのやら。

無料の高速みたいなバイパスをぶっ飛ばしてた新潟時代はよかったなあー。

関東の渋滞は底知れないし。

ま、とりあえず西へ西へ。

思いがけない楽しさに出会えますように

本日のBGM； KOKOMO /the beach boys

ここたの

2006年07月21日 00:54

今住んでいる近所に素敵な喫茶店がある。

商店街の助成金に支援はして貰っているけど、某大学のサークル生が主に運営している所。

何より良い雰囲気 of 喫茶店で、暖かい温もりの感じられるお店だ。メニューの少なさはたまに傷的ではあるけれど、そこには、今日のランチのお味はどうでした？とか、近隣住民の、ちょっと家まで用たして戻ってくるわ！の一言に対して、お帰りなさいとか、大学生のスタッフがいないときは金子信雄のおじいちゃんがいたりとか、そこには素敵な出会いがあるんです。個人的にも、過去行った全ての機会に素敵な出来事が起こっていて、ミラクルなのです。

そんな出来事が起こるのはお互いの、少なくともこちらが相手に対しての心からの感謝があるから、きっとそれはお互いに通じ合っているからこそそのものだ、と思う今日この頃。

本当はどこに行ったってこんな出会いはあるのに、自分から放棄してた自分に反省。

本日の BGM: 「PEARL JAM // I believe in miracles (ラモーンズ)

蝦夷富士

2006年09月03日 18:57

実家から見える『蝦夷富士』羊蹄山。

僕の実家がある町側（西側）から見る形はきれいな形をしています
が東側からだといびつな形をしています。

その少し左にはニセコ連峰といって標高はそんなに高くはありません
がバラエティーに富んだ形の山々が連なっています。

その一つアンヌプリは比羅夫やモイワ、アンヌプリ、東山といった
スキー場のメッカです。

特に3月から5月連休にかけての残雪風景はとてもきれいです。

高校生まではそこに住んでいたの、普段みる景色として取り立て
てきれいだなんて思わなかったんだけど・・・

函館から国道5号線をひたすら（2.5時間位）走ると、この風景が
見えてきます。

数年前佐多岬から宗谷岬を車で走破したときに改めて良い景色だ
なって思ったのであります。

夕日差す海の向こうに見える利尻富士も絶景でしたが。

ちょっとだけ都会暮らしに疲れた心を東の間でも癒してくれた故
郷の風景は一段と輝いて見えました。

（ちょっとしんみり）

本日のBGM：「夏陰// スガシカオ」

麻婆豆腐

2006年11月14日 21:42

一人暮らし歴、随分。これまで数々の麻婆豆腐を作ってきたけど、最近この味！！っていうレシピに出会う。『噂の東京マガジン』で某東京の有名ホテルの中華料理長が作っていたレシピ。自分で作ってみて、個人的に今までのなかで美味しさ No.1。これまで、やれコクが無いだの、辛みが違うだのウンチクを自分なりにたれて甜麺醬やらトウチやら色々たしてみたけど、前出のレシピは比較的シンプルで美味。ポイントは絹ごしを予め塩ゆでしておく事と、本格的な中華の調味料は豆板醬と紹興酒を使うくらい。あとは基本的に『和』の調味料なので日本人向けの味付けと思われます。尊敬する某陳さんの麻婆豆腐店の味より個人的に好み。ま、四川的と日本人好みの味は異なると思うけど。

将来的に独立して商売をしたいと思っているので、本格的、伝統的な物を自国で提供するのか、日本人向けにアレンジして伝えて行くのかは恐らく悩み処となるのだろうけど、今の時点では日本人向けにアレンジしたものを提供していきたい、と思う今日この頃。

ロックだって、色んな解釈があって今の音があるわけだし。でも、流行じゃなく本物を作ればどっちだっていい、という意志は揺らがないけど。

本日の BGM ; last exit// Peal Jam

凹&凹

2006年11月21日 00:52

今日は昼の部(学校)も夜の部(バイト)も凹みっぱなし。

昼の部は志高く、下準備を十分して望んだ実習で規定をクリア出来ず、撃沈。技術的な失敗は致し方ないとしても、チームワークが明らかにバラバラな我が班は改善の余地多し。でもそれが個々のスキルアップより遥かに難しいのはわかっているのだけれど。

夜の部では勤務3日連続で庫内作業で破損事故を起こす。

人生これまでない経験。

『汗臭い職場よりグレープ(ジュース)臭い方がいいよ!』、なんて軽いジャブを社員から浴びる。

リスクアセスメント(危険回避処置)を導入(万が一あるとしてもアルバイトは知らない)したらどうですか?なんて、右フックを浴びせる勇氣もなく、やり過ごす。

言い訳ではなく客観的に考えて、不注意6割、不可抗力4割なのだけれど、責任は自分にあるのは事実。職場には危険が溢れている、隠しようもない事実。

ところで、何故凹んでいるのか?

突き詰めると、どちらの出来事も今の自分が関わっていて、起こってしまっている出来事だから。

言い訳はいくらでもできるけど結局、自分をもっと核心に関わらないとダメということ。変えなければ。自分一人の責任ではないけれど、他人事でもないという事。

本日 BGM : 『KEEP THE FAITH // BON JOVI』

原点回帰

2006年12月12日 02:40

ずっと長い間、色んな思いが頭をよぎって、解決するどころかどんどん絡み合う糸のように複雑になっていって今に至っている。

思い起こせばそのきっかけは8年前に起こった出来事が原因。

ぼっかり心に穴があいてしまった当時。

なんとなく生きてきて、悩みもなく幸せとってた時期。

その後『幸せ』は薄れ『なんとなく生きてる』状態が続いて、ついに自分自身限界に。

思い起こせばそんな蓄積が今の原動力なのかも。

8年前の出来事が今の原点の気がします。

音楽はその時々的心にすうっと入ってきて、哀しみも勇気も演出してくれる、この世でかけがえのないもの。

『原点』の頃はクラブトンの「Tears in heaven」がテーマ曲みたくなっていたし、今はスガシカオの「Progress」がテーマ曲。

音楽は三度の飯より好きだけど、自分の心と同調して長く聞き続けるテーマ曲になる曲って、数少ない。

なんだか自分で書いて「何が言いたい状態」になってきたけど、今は一歩ずつ前に進んでる事が、前より早いスピードで実感出来ます。その分苦しみや切なさが伴うけど、それは世の必然か。

停滞期と活動期の違いかな・・・

一週間の研修を終えて思ったこと。厳しくも真摯に、ひたすら人のためにお菓子を提供し続けるシェフの姿勢に感動しました。

華やかで儲かる商売はそこそこ世に存在するのだろうけど、それとは異質の職人世界の、表向き華やかに見える舞台裏で繰り広げられる緊迫感にゾクゾク、わくわくしてる自分。

自分にはお似合い、合ってるって改めて思えたから突き進みます。

今日もあと一歩前に、進むぞ！

本日の BGM ; 「Tears in heaven (unplugged) / Eric Clapton」

おみくじ

2007年01月01日 23:01

偶然にも2年連続で全く同じ内容のおみくじを引いた。

去年は実家の北海道の神社で、今年は東京の天満宮で。

『大吉』で、内容も良かったのでうれしいんだけど。

今年の正月は初めて、実家にも帰らず一人で過ごしました。

いつもは大晦日に紅白をみて、家族でおせちを食べながら過ごすのが楽しみだったけど、今年はおかんのうま煮やお吸い物が食べられなくて残念。

でも元旦にクール便で色々食べ物を送ってくれました。

束の間の休日の今日は毛ガニ！をほおぼって満足！

ここ最近人からのありがたみが色々な場面で心に染みる事が多い。
家族や友達や働き先の人たちや。

一人ぼっちだったけど、だからこそ、色々な人の言葉が心に染みる
年末年始でした。

なんだかとても穏やかな新年。

今年も一歩ずつ前へ！！

本日の BGM ; 「The Day // Baby Face」

パティスリーでのプチ修行

製菓学校は1年制だったので夏ごろから就職活動も始めた。学校の就職課はかなりサポートがしつかりしており、求人も沢山来ていた。年齢的にホテル関係は無理だし、将来を考え、個人経営のパティスリーに絞って就活していた。今にして思えばただの無鉄砲で、良くそんな事が出来たなと思うけれど、自分が食べ歩いて美味しいと思ったお店や有名店で採用の可能性がありそうな所には、片っ端から電話していた。ほとんどが今採用はしていませんと断られた。有名なシェフから1時間近く電話でパティシエという仕事の大変さについてお話を頂いた事もある。(君は甘いよとお叱りを受けたのだが、今にして思うと有難いお話が聞けました)

中にはお店での仕事を見せていただけたり、面接をしていたいただいたお店もあったがなかなか採用までには至らなかった(技術も経験もない、ただのおっさんだから当たり前だ。)

そのなかで学校からも比較的近くにあったパティスリーのシェフに「アルバイト代は出すから学校の授業がない時はうちで研修してみないか？」と言っていた。その後冬休みやクリスマスなどにもアルバイトとして働かせていただいた。シェフは洋菓子の世界コンクール「クープ・ド・モンド」で日本チームの一人として準優勝されている方だ。勿論食べ歩きをしてとても印象に残っていたお店で、生菓子は勿論、焼き菓子の種類も豊富。ヴィエノワズリーというケーキ屋さんを作るパンなどもあり、その上価格が驚くほど低く抑えられていて、本当にシェフのこだわりが感じられるパティスリーだった。

内装や外観も素敵で、初めてお店に買い物に行ったときはお花屋さんだと思って通り過ぎてしまった事を思い出す。

正月明けまでお店にはアルバイトにいったものの、学校の3学期が始まり、しばらくお店に顔を出しにくい自分がいた。実務経験がないとは言え、自分の力不足に自信を無くしてしまっていたし、このお店にいと他のスタッフにも迷惑をかけてしまうのでは？とすっかりおじけづいてしまっていた。シェフもきつと僕が使えないヤツだということを僕に言いにくいんだろう、そう思っていた。

卒業も迫ってきてても未だに就職が決まらないまま、悶々とした日を過ごしていた時、たまたま同じ学校で同じ時期に研修を受けていた女の子から「シェフ」が心配してたよ、と言われた。その言葉を聞き、お世話になった挨拶には行かないと、思った。

結局そのあとご挨拶に行ったときにシェフと色々お話をさせていただき、僕の様なものを採用していただけの事になった。

お店は販売、製造を含めて12人くらいの規模のお店。製造部門の人は朝6時から夜9時くらいまで働く。焼き菓子や生菓子などの生地をオーブンで焼く「焼き場」と、生菓子の仕込みや仕上げを行う部門とに分れるが、朝一から開店までの時間は全員でショーケースに並べる生菓子25種類以上を仕上げる。焼き場の担当者1名だけはオーブンに張り付き、クロワッサンやビエノワズリーを焼き上げる。

僕は一番下っ端だったので、朝一番にクレーム・パティシエール(カスタードクリーム)を炊くのが一日の始まり。その後は焼き場の助手をしながら、比較的簡単な生菓子の仕上げをし、開店後は焼き菓子や

生地を仕込んで焼くという繰り返し。一番に技術がないので「なんでも屋」でもあった。お店が混み始めると販売のヘルプで店へ出る、つり銭が少なくなれば坂道の多い銀行まで両替にチャリをとばす。仕事の合間をみて材料の在庫チェックと発注もする。シェフの思い通りになんか全然動いてなかったと思うけど、自分なりにアップアップしていた。よく、教わった事はメモを取りなさいと言われるが、メモを取る時間すら許されないような状態。休暇時以外は10秒も「ボツ」と出来ない程、あくせく動いていたな、という印象です。勿論自分に余裕が無いだけで、只々必死だったんだけど。

4月に就職したものの、その年の12月末でお店を辞めてしまいました。

それまでアルバイトを含め、嫌だからとか自分に合わないからとか、ネガティブな理由で仕事を辞めた事は一度もありません。夏ごろにはじめに体にガタが来て、その事がきっかけとなり心の張り詰めていた糸がプチンと切れてしまいました。メンタルもフィジカルもどっちの体力も僕には不足していたんだと思います。未熟で甘かったんだと思います。シェフからは沢山厳しい事も言われたし、でも今にして思えば僕に対して厳しく当たる事も当然だったと思います。自分が「使えない」人間だったから。

勿論叱咤激励の意味もあったと思います。これ以上どうする事も自分では出来ず、本来注がれるべき所にエネルギーが使えていない、そう思ったので秋に辞めたい旨をシェフに伝えました。

「きれいごと」ではなくシェフには本当に感謝しています。退職した日以来、それっきりになってしまっています。近いうち「青空と自然に囲まれた流行を生み出すパティスリー」にご挨拶に行かせてい

ただきたいです。辞める日にシェフからいただいた「パレットナイフ」を今も大切にに使わせていただき、毎日「ナツペ」しています。

消えかかった炎

2007年02月16日 23:12

再び盛り返しました！

よーーーーーっやく決まった就職。

自分の希望が叶った就職。

喜び 1/4、プレッシャー 1/4、やってやる！感 1/4、残り 1/4 は力抜いてけよ！感 1/4 で。

「ほどけた人」を目指したまま、この先進めるだろうか・・・。
人生は躍動感に満ちあふれてなきゃ！！

本日の BGM ; 「Bryan Adams// EAST SIDE STORY」

幸せって

2007年05月10日 23:29

おなかが空いてご飯を食べる。

数秒あればどこでも寝られるほど、睡眠のありがたさもつくづく。

あんど、リラックスできる部屋と音楽。

今の俺にはそれだけが楽しみで毎日生きられる。

成長する事の引き替えに、生きてる価値を改めてかみしめられてるのかも。

日々辛い。でも成長したい。

だから、前へ進むのみ！！

何のために菓子作りをしてるのか。

そこだけはどんな状況でも、忘れずに、大切に。

本日の BGM ; 『Like A Rolling Stone // Bob Dylan』

>>決意表明

2007年06月18日 19:54

自己主張は心の奥底にしまっておいて。

罵倒されても、全部自己否定され続けても。

自尊心やプライドは決して捨てずに。

時々、涙が枯れていないことを自分らしさを保っている確認事項として。

三年後、まず最初の自分の目標を達成してますように。

三年後、鳥取砂丘の海辺で両手を天に突き上げてますように。

久々に『ショーシャンクの空に』でも観よつと。

本日の BGM ; 『MR.CHILDREN//終わりなき旅』

こんな形で・・・

2007年06月25日 23:13

明後日、三月まで通っていた学校へ、講習会の助手として行くことになってしまいました・・・

働いている店のシェフが学校で外来講習をするので、その助手として。まさかあの教壇で助手をする羽目になるとは・・・

まだ新卒で三か月しか経ってないのに・・・

三か月前までは生徒として授業受けてたのに((-_-;)

今は色々な経験をさせてもらってます。

厳しくて辛くて日々逃げだしそうになるけど、信念があってやっていること。

給料が安くても、労働時間が長くて、朝が辛くても、何故か毎日が充実してるんだよね。

もっともっと、積極的にいったらずっとずっと早いスピードで成長できる。そんな環境に今いられることに感謝しなきゃ！

生命力の強い、あいつ

2007年07月03日 20:21

道産子で、本州に住んでいたものの、ゴキちゃんに出くわしたのは、30数年生きてきて2度ほど。三か月前まではね・・・ けど、けど、今の職場ではカブトムシ級のゴキちゃんが度々出現します。 やつら、生命力は強いくせに、わざわざ人間に見つかりたがるかのごとく、うろうろ壁、床にでてくるんだよね。

もうちょっと賢いと、きっと太古の昔からもう少し進化してただろうに・・・

たぶん、刷り込みじゃないけど、カブトムシ、って思えば別に（まあ、正直抵抗かなりありますが・・・）必要以上に恐怖におののく

事もなかろうに！って自分に言い聞かせて、仕事柄、抹殺させていた
ただいてます・・・

すまん。でも、やっぱゴキブリはだめっす！！！！

北海道では大々的に繁殖するなああああ、よ！

パティエとしての近況報告は・・・

ありすぎて書けん！！！！

みんな、それぞれ生きてるんだよね。

すこし、ふと客観的にひいてみると、自分にふりかかる出来事って、
その場で死ぬほど辛くて、人を憎んでも、あとからなんだか滑稽に
思える今日この頃。

いろんな人がいて、絶対に許容出来ない、って思っても、一歩引け
ば、なんだかどうでもよくて。

可笑しい人生。

明日は休み！！！！

ホルモンとビールで乾杯い！！！！

本日の BGM ; 『George Michael// One More Try』

逃亡

2007年09月02日 01:08

本気で逃げようかと思った。

でも、ぎりぎりで踏みとどまった。

周りの人達からの励ましがあったから。

人に叩きのめされて、一方で人に救われて。

最近毎日、この葛藤の繰り返し。

心も体も結構限界。

でも、やっぱり逃げる訳にはいかない。

職場で流れてた有線で心にしみ込む曲があつて。

ずっと気になってて。

調べたら「柴田淳」だった・・・。

音楽のアンテナは張り巡らせてるつもりだけど

今まで全く存在を知らなかった・・・。

いい声、歌うす。

うーん。

2年。

あと2年で「愛」！がキーワードのパティスリーを開く。

・・・なんて、夢のまた夢か・・・

本日の BGM ; 「紅蓮の月//柴田淳」

雑貨屋で購入したアナログ時計のくせに電波時計な、レトロチックな時計。

デザインは気に入っているのに、見事に毎回 15 分遅れて修正してくれるイカレポンチ。

毎日深夜に人知れず、12時に自ら一旦リセットして、ぐるぐる秒針を回転させながら、電波更新して時刻をセットしているのだが。だがだが、、毎回 15 分遅れてるやんけえー。

毎日直しても、毎日 15 分遅れで時刻更新するさかい、わてどうしたらいいかわからんやんけー。(関西弁使い方あってるかな?)

というわけで、すぐ隣にもうひとつ壁掛け時計を飾っている我が家。(10年以上前の貰いものだけど、今でも大切にお気に入り使っているのさ……。あ、切ない思い出の時計なんです、この時計……)

柴田淳にどっぷり浸かりきっている今日この頃。

いやあーこの方の声にはまりました。

ボーカリストってほんとに神から授かった才能だなんて思うけど久々にそのことを痛感しました。デビッドカバーデイル以来、そう思った……

ん!?

本日の BGM ; 『花吹雪//柴田淳』

占い

2007年10月31日 01:18

生まれて初めて占いに行ってきた。

わざわざ都心まで。

新宿の母ならぬ、池袋の姉さんを頼って。

運命という、客観的な見地から今自分が置かれている状況と、現実の世界で生きている自分の決断とがどれだけ離れているかを確認めたくて。

占いの的には今の自分の決断を後押ししてくれたし、これからの自分の励みになるであろう言葉もたくさん貰えた。

やっぱり大切なのは情熱と信念だってことか・・・

自分らしさを保てなくなっているから、一旦舞台からほんの少しだけ降りることにした。

でもまた直ぐに戻る。

必ず戻る。

傷ついていることすら実感できないまま、毎日夢中で必死だったけど、何があっても絶対に逆らわないって決めていたけど・・・。

一度心と体が壊れて、振り返って、やっぱり我慢の限界を超えた場所に半年以上いた自分に気づいた。もうギブアップ。

しばたじゅんしばたじゅんしばたじゅん。

生まれてきたのに

あまりに脆くて

傷を負うだけの

僕はなんだろう

歩き疲れ 生き疲れて
それでも消えそうな夢を
忘れたくない

僕を待つ人も
引き止める人も
誰も見えなくても
生きていてもいい？

しばたじゅんしばたじゅんしばたじゅん。
今「柴田淳にはまっている選手権」に出たら、たぶん俺、ぶっちぎりで優勝だな。という自慢（どうでもいいですよ～♪♪）

あー、あと5時間もしないうちに、目も覚めやらぬうち、寝ぼけマナコのまま、汗だくでパティシエールを炊かなくてはならぬのに、何を夜更かししているのじゃ。

しーゆー！

本日の BGM : 『幸せなうた// 柴田淳』

「たまごスープください」

2007年11月06日 13:18

「レギュラー」 > 「基本」 ??

昨日、某焼肉チェーン店に行ってきた。(もちろん一人だ・・・)

休日前のささやかなご褒美を自分にするべく。

ホルモン、カルビ、ビールの後、締め頼んだごはんとスープがやってきました。

と、ここで問題発生。

スープがでかい。ごはんに対してでかい。思っていたのよりでかい。

ははーん。そうか。

「レギュラー」と「基本」。

メニューにはこう書いてあった

「当店のスープはハーフサイズが基本です」

・タマゴスープ (¥**)

・タマゴスープ レギュラー (¥***)

だから僕は注文時に「タマゴスープ下さい」とだけ言った。

あえてハーフの方とは言わずに。

これがいけなかった。

オーダーに入っていたのは「レギュラー」の方で、僕が

満腹感を押し殺して全部飲み干したのは、レギュラーサイズだった・・・

おなかはたふたふ・・・

って、おい！ 「当店のスープはハーフサイズが基本です」

って書いてあるから、紛らわしい事になるんちゃうんか！？

別に怒っている訳では全然なく、ただ客商売として指摘したほうがいいのでは？と僕の脳が心に訴えかけてきた。

会計時、かなりの勇気を振り絞って店長を呼んでもらい、「タマゴ

スープ事件」を報告した。

怒っているわけでも、差額が惜しい訳でもない事をひたすら強調しつつ 経緯を説明。

さすが店長。ハーフサイズで精算してくれた上、割引券までくれた。
ラッキー！！

いやいや、そんな金銭的な事はどうでもいいんです・・・ほんとに。

いや、やっぱりでもどうでもよくない。

やっぱり商売という事からすれば、こんなささいな事が大切と思う。

帰り際の椎名桔平似のイケメン店長の応対はとても素晴らしかった。

ミスを認め、改善策を述べ、こちらの指摘に対して「ありがとうございます」といった。

うーん。やりやがる、椎名桔平。ちょっと惚れたぞ。

もっとまじめになってもっとたくさん学びたい

たったこれっぽちの生きざまをひとり振り返り

四の五の理屈を言ってる私を愛したい by 橘いずみ「失格」

暇なのか？自分。

本日の BGM ；

『柴田淳 // パズル』

『GUNS N' ROSES // NOVEMBER RAIN 』

『kenny"babyface"edmonds // wonderful tonight』

秋（秋か？）の夜長はしんみりと・・・

ピッチピチのつんつるてん

2007年11月14日 00:38

いやあー、今朝凄いものを目撃した。

休日だけど、デパート出店の催事につき、朝ちょこっと出勤した後、同僚三人で向いの M^{ドナルド} で朝マック！と盛り上がる。

10時ぎりぎりに M^{ドナルド} 入店。

そこで”とんでもない珍客”と出くわす。

”仁王立ちのピッチピチ、つんつるてんの桃白白（タオパイパイ）”

身長、推定 180cm 以上、筋肉質というよりは細身。

左手片手に新聞を持ち、姿勢めっちゃよく、中央レジ 1メートル手前で 仁王立ちで新聞を読んでいる。右手はフリー。

いでたちは顔は、落ち武者ライクにもみあげからサイドにかけて遅れ毛を残し、後ろ髪はロングのため輪ゴム結び。

顔は「ドラゴンボール」のタオパイパイ。もちろん左右に伸びたおひげが誇らしげ。

上半身は体の面積に対して 1/3 程しかないタンクトップ（というより後ろで肩かけのひもがクロスしている、女性用の水着？）

模様はひょう柄に近い。

下は短パンというより半ケツ剥きだしの黒のデニム地短パン。

そして、きれいに膝まで上げられた白のハイソックス。

問答無用で三人とも入店直後、笑いをこらえる事が出来なく、三人とも 後ずさり。

後ろのベンチで腰かけているピエロちっくな M^{ドナルド} のキャラクターより、何百倍も凄まじい。

近づけない。

注文できない。

言葉にできない。

どんなに凄かったか・・・どつきりカメラだ、きっと。
そう思うしか、僕らにはできなかった。
タオパイパイは注文を受け取ると、二階へ。
僕らはタオパイパイと同じフロアにいる自信がないことを満場一致で 議決。 数席しかない1階で朝マック。
ほどなくしてタオパイパイがお帰りに。
旧日本財閥系自動車の青いPジェロに乗ってお帰りになられた。
いやー、参りました。
確信犯なのか、天然なのか。
人間、法さえ犯さなければ自由だと思うけど・・・
でも、タオパイパイは凄い。
だって疲れている僕らをこんなにも笑顔で包んでくれるのだから。
快晴の青空と朝マックとタオパイパイ。
いやあー、なんて素敵なお朝。
ちょっぴり悩んでいる自分が馬鹿らしい。
そういう意味でタオパイパイは偉大だ。
だって僕に、くよくよするなって、訴えかけてくれたもの！！
人生って滑稽だ。
もっかの所、タオパイパイがうちの店に来てくれるのか？
また会えるのか？
それが3人の願いです（笑）

本日の BGM ;

「Don't Think Twice, It's All Right // Eric Clapton」

「くよくよしてもはじまらない、これでいいんだ。」

結婚

2007年11月28日 02:02

妄想の中では自分の結婚式の流れは決まっている（←っていうかまだ結婚してねーのかよ！いつするんだよ！）

全員が起立しての乾杯は BRYAN ADAMS の「THE BEST OF ME」

式の途中、新郎から新婦へのサプライズプレゼントとして

仲間との弾き語りで Kinki-Kids の「全部抱きしめて」(by 吉田拓郎)

新郎！から両親への手紙の時間（そんなコーナー、普通ねえーよ！）

は GONTITI の「放課後の音楽室」

式のクライマックスは HEART の「I LOVE YOU」

ふー。

最近、妄想が趣味・・・・。

今日は良い一日でした。

友達から、家族からなぜか沢山電話がかかってきた来た一日。

周りの人たちの近況を聞いて、日々着実に時は流れているんだと

なんだか感慨深い一日。

大学の時、スーパーサイヤ人みたいな髪の毛してた、今は公務員で議会に携わっている友達、結婚おめでとう！

忘れられない昔の彼女の結婚を先週末に知ってしまい、ヤケ酒飲んでる無二の親友、元気出せ！

ほっとするパティスリーにも行ってきたし。

これからの事、先回りして悩むのはやめよっと。

「心配事は現地で調達」

こいー、一日でした。

明日からまた、がんばるぞっ！

本日の BGM ；

「月光浴 // 柴田淳」

マイケル・ケンナ

2007年12月04日 12:19

去年、美術館巡り（似合わねえー！）してる時に、恵比寿の美術館でマイケル・ケンナの写真に出会った。

白い風景に一本だけ立つ樹木とか、構成がどこかさみしげで、ふらっと立ち寄った僕に、メガトン級の癒しと感動を与えてくれた。

元々僕はドライブする度にどこかそんな風景に出会う事を、どこかで期待していたフシがあって、実際鶴岡の、昔、人面魚で話題になった某お寺の近くの平野にひっそりたたずむ一本の木の風景が忘れられなくて、ずっと心に引っ掛かっていたもやもやがあった。正月の度に帰る、故郷の北海道の白い風景とそれが見事に結びついた写真が、マイケル・ケンナの写真だった。

北海道の風景もとっているんですね。

美術館ではマイケル・ケンナについてのショート・フィルムも上映されていて、思わず見入ってしまいました。

この人、一人で現地へ出向き、山籠りのような環境でその場所の風景や景色を撮ってるみたいです。

ひとりで。

孤独感とさみしさに裏打ちされた、たくましさ。

たぶん、そんなところに魅かれて、僕は展示されていた数々の写真のとりこになっていました。

あんな世界感を味わえるお店が出せたらな・・・

決して幸せに満ち溢れているわけでも、洗練されているわけでもなくて

どこか、さみしさや孤独を、ふと感じ取れるような空間を演出できたらな・・・

根本にあるのは『悲しみ』

そんなパティスリーを開きたい。

本日の BGM ; 『白い世界 // 柴田淳』

東京暮らし三年目

修行先のパティスリーを研修で働いた期間も含め1年程で辞めてしまい、約3ヶ月無職のブーでした。毎日マンションに引き籠もり、アルコールに依存する日々。さすがにこのままじゃまずいと思い(お金が無くなってきたというのもありましたが・)取り敢えず派遣会社に登録しました。運良く直ぐに派遣先を紹介して貰える事に。経験がどう活かるかわからないもので、菓子業界で量りを使っていた事が幸いし、外資系の化粧品会社で働く事に。30代半ばのおっさんが毎日理科室みたいところでファンデーションや口紅などの化粧品の試作開発に明け暮れていました。正社員や他の派遣社員も良い方はかり。食事にもたまに皆で出かけ、「天空落とし湯切り」で有名なラーメン屋さんにも連れてって頂きました。この会社は定時で終わり、最寄駅までのバスの送迎があったので、掛け持ちで某中華料理系チェーン店で深夜までバイトしてました。この頃の家布団での睡眠時間は3時間程。それでも通勤時の電車とバスそして昼休みに15分の昼寝。スキがあつたら寝るといふ、睡眠の有難さを痛感させられた時期でした。

某中華料理系チェーン店でのバイトは接客の「ホール」の仕事が主でした。パティスリーで人生初の「接客」をし、出来る事ならやりたくない仕事でしたが、背に腹は変えられず。面接の履歴書には「なんでもやります!」と書いてしまい、店長から「じゃ、取り敢えずホールから」と言われ、採用していただきました。「自分の殻を破る」というのは歳を重ねるにつれ、「おっくう」になる事だと思いますが、こ

れまでやった事の無い事に取り組む自分というのは、成長というか、「意外と自分はこんな事も出来て、しかも自分に向いてそう。」と新たな自分を知る事が出来る。

そういう経験をそのバイトでさせていただきました。

きままに

2008年01月15日 01:17

新年早々、失業したというのに。

お正月は実家で飲んだくれ

東京戻ってきても飲んだくれ

それにしても東京は住みやすい。

つい数日前には目の前をたくさんの雪をさらっていくブルトーザー、という光景があたりはずなのに。

つくづく、東京は住みやすい

人が沢山いる事さえ我慢すれば。

住みやすいから人が沢山いるのか（汗；）

今日のいちにちと言えば・・・

お昼にラーメン屋さんの「雷文」で塩ラーメンを食べる

並んで食べる始めるまで1時間弱。でも（だから？）美味しかった。

あんなにお客がいたのに『ビール』を頼んでいるのは僕だけ。

どんだけえー。

僕の前に並んでいたおやじもつられて『ビール』を注文。

僕は少し、してやったり顔

なにさまあー。

食後、すぐ近くの神社で初詣（遅っ！）

末吉をひく。

見なかったことにした。

そのあと電車でゆられ

ラーメン食べてから3時間も経っていないのに、回転すしをほうばる。うにと特上うにが100円しか変わらないのに、特上うにのウマイこと。特上うに、つつたって315円だ・・・

おなか一杯になって、1時間弱かけて家まで戻るのおっくうになる。途中の駅で降りて映画を観る事にする。

『アース』・・・映像は綺麗でした
家に帰る途中、前の職場の人と偶然会う。

15分ほど話し込む。

家にやっと辿りつく

友達から電話

2時間ほど話し込む

なんて、ぐうたらで贅沢な一日なんだろう

明日は民生の新作でも買いに行こう。

『LION』くらいクォリティーが高いといいな。期待してます！

これから正月に見逃したすきやばしじろうの

「プロフェッショナル」でも見て寝よっと・・・

本日のBGM ; 『サプリメント // 奥田民生』

後悔・・・

2008年01月18日 18:05

ぶらぶらしてたんなら、
なんで行かなかったんだろう、

BON JOVI のライブ・・・

忘れてた・・・

かなり後悔・・・

くぅー(涙)

なんだか洋楽キャッチー路線コテコテで、やや敬遠されがち？

(勝手な思い込み?)な BON JOVI。

でも彼らの才能は素晴らしい。

なんてったって、この僕(なにさまぁー)に洋楽の素晴らしさを導いてくれたバンドだ。

最新アルバムの『LOST HIGHWAY』に至るまで、僕が出会ってからですら、20年経っても尚、胸をかきむしりたくなるようなバラードとアグレッシブな珠玉の音を提供し続けてくれる。

MD(いまだにいー!?)に MY BEST を作ろうと思っても、1枚じゃとても足りないぼんど、数少ないぼんど。

才能って恐ろしい&羨ましい。

あー。

ギリギリだ。

いろんな意味で。

ぎりぎり。

ま、なるようになるさ。

っていうか、なりたいようにするさ。

「EVERYBODY'S BROKEN」・・・誰だって生きていればくじける
さ・・・

勝手に BON JOVI に励まされてみる・・・

HAVE A NICE DAY!!!

本日の BGM ;

『EVERYBODY'S BROKEN // BON JOVI 』

『HAVE A NICE DAY // BON JOVI 』

『IT'S MY LIFE // BON JOVI 』

いずい

2008年01月20日00:31

「いず(づ)い」って方言かなあー。

「あー、歯の奥がいずい」とか。

例えるなら、かなり昔の巨人軍ヒルマン投手の発言>>>

>>「ひじに違和感があるので帰国します」

それっーーーーーっ！

それって、「いずい」じゃない？

・・・こんだけ一人で盛り上がっておいて

・・・ちと違う。

んー。

「いずい」;

～なんとなく、痛くないけれども、なんなら少し痒いくらいだけでも、少し気になる程度の体のごく部分的な変調。

んー。たぶん「じょっぴんかる」とか「ほいど」、「はんかくさい」
(昔加藤登紀子がインスタラマンの CM で無理やりこの言葉を使っていて、かなりわざとらしかったのを思い出した・・・後にセフ、変わってましたが)

と同じくらいの認知度だと思うのですが。

個人的に。

ま、いいや・・・。

伊豆旅行、明後日出発です。(イタイ文脈だ・・・)

今日、吉祥寺で貧乏三人衆、カフェで4時間！！の格闘ミーティングの末、やっと決まったプラン。

わぎチン、ごめん。俺も貧乏な身故、必至だった。

間際になって色々言ってしまうってホント、すみません<m(__)m>

お互いに妥協案になったけど、決まったからには楽しもうね♡

言いだしっぺのわぎチンの「楽しもうぜ」企画にはほんと賛成だし、感謝してます！！！！

よろちく

最近パティスリーに食べ歩き行ってます。

学生の時もかなり行ったけど、今いくとまた色んなものが見える。

良いところも悪いところも。

凄く、勉強になる。

必ず将来の糧にしますっ！

今日はワイン飲んで、就寝！！！！

本日の BGM ; 『SUFFER SOME // JANE'S ADDICTION』

はりぼて

2008年01月29日 21:54

最近久しぶりに車雑誌を立ち読みした。

「国産車、国外車オールラウンド」

車を持たなくなっても未だ2年くらいだけど・・・

興味ないなあー、最近の車。特に国産車。

シャシーはおんなじで外装だけ小手先の外観だけ代えてる車たち。

何のポリシーも感じない。

特に生産台数世界一獲ったとか獲らないとかのメーカーとか。

商売からいったらそら、販売台数伸びるんだらうけど。

街で走っていてもほとんどの国産車に「え？」と思うのは僕だけ？

NISSANのGT-Rも果たしてどれくらいの方がスーパーカーと思うのか。

思わないよなー普通。見た目じゃ・・・(全く個人的意見ですが・・・)

小学生なんて実際乗る機会なんてないだらうし・・・

もちろんこの世の中、外国の車だって事情は同じだと思っけど「品格」はあると思う。「ガイシャ」っていまだに。

それは高級とかの要素もあるけど、そのほかにポリシーみたいな。

日本人って器用だから、きっとあれもこれもある程度のものをそこそこのレベルで提供できてしまうんだと思う。

しょうゆ、みそ、しお、とんこつ、取りあえずあります、みたいな。

でもそこに文化を作ろうっていう意思はあるのかな？

種類はいろいろから、お勧めの美味しいもの下さい、って思う。

うちはみそやぁー！！みそオンリー！！　みたいな。

海外の車メーカーを見ていると、少なくとも少しは感じるんです

が・・・

でも車って多くの人にとって「足」なんですよね・・・
そう思ったら、「すいません」って思いました・・・

「MAZDA、 唯一水素燃料でいく」

いっすねー。マツダ万歳！！

ロータリーエンジンを市販化したあなた達ならきっとできます！！！！

今日はなんだか辛口？なに様？だなー。

・・・反省。

暇、なんだなー。

本日の BGM ;

>>>

「RATS // PEARL JAM」

「CORDUROY // PEARL JAM :from Tokyo,japan March 3rd
2003」

「JEREMY // PEARL JAM」

「BRAIN OF J. // PEARL JAM」

「EVEN FLOW // PEARL JAM :from live on two legs」

「LAST KISS // PEARL JAM」

「DAUGHTER // PEARL JAM」

「Spin the black circle // PEARL JAM」

「Whipping // PEARL JAM」

「Wish list // PEARL JAM」

「Low light // PEARL JAM」

「Rearviewmirror // PEARL JAM」

「Yellow ledbetter // PEARL JAM :from Tokyo,japan March 3rd
2003」

パールジャムーーーー！！！！

来日してくれえーーーー！！！！

頼むうーーーー！！！！

にわか NIRVANA ファンが多い日本だけどーーーー！！！！

(僕、NIRVANA はそこそこ好きです)

前回行った仙台公演は数百人しかいなかったけどーーーー！！！！

懲りずに来てくれえー！！！！

あー酔ってる・・・

アウトプット、ゼロ

2008年01月30日 16:19

部屋の中が凄まじく、ぐちゃぐちゃ。

缶ビールとチューハイの缶が散乱し、

CDとMDも散乱し、

本も散乱、

食品のパック類も散乱、

服も散乱、

全くヒドイ状況。

前向きに考えると、只今リセット中。

現実を見つめると、現実逃避中。

なんか、頭で答えを出そうとしてる。

いや、なにか答えを欲しているけど、

何も見つからない。

なにひとつ。

色んな本も読んで

色んな人の言葉も聞いて

色んな情熱のほとぼしりにも触れてみる

一旦、自分で消化してみるけど

アウトプット、ゼロ。

アドレナリンが、直ぐに消失してしまいます・・・

迷ってるくらいなら、進んでみる。

当たり前の事だ。

もう、2月。

そろそろ、動き出しますか・・・

本日のBGM ; 「RECKONING DAY // MEGADETH」

『11』

2008年02月07日 04:42

来たぁー~~~~っ~~~~！！

ブライアン・アダムス、11作目のオリジナルアルバム3月発売！！

前作から2年半。

短いスパンだ！！ ありがとう！！ 待ってました！！！！

日本にも来てくれるよね???

そのハスキーボイス、永遠のロック少年魂、楽曲の素晴らしさ。

個人的にパールジャムと双璧なす、まいふえいばりっとアーティスト。

前作の来日公演(武道館)観た後日、余韻でノリノリな僕はドライブで爆走していましたが、45km オーバーで白バイに捕まりました。

免停+罰金8万円也・・・。

ぶらいあん、あなたのせいだ！！

---ぶらいあん・あだむす---

カナダ、ヴァンクーヴァー出身。

数々のヒット曲を創出。

「(Everything I Do)I DO IT FOR YOU」(映画ロビンフット主題歌)がイギリスのウエディングソング No.1 に選ばれる。

その他、映画「三銃士」「ドンファン」「SPIRIT」「守護神」の主題歌 等を手掛ける。

でもサントラアーティストでは決してない。

純然たるロックアーティスト。

限りなく50歳に近いのに、カッコよすぎるロッカー。

その音楽に幾度となく助けられ、自分の進むべき道標を示してくれた音楽家。

数々の名曲と言うに値する、ロックチューンとバラード。

その中でも、それらのハザマに位置する「I Will Always Return」は名曲だ！！

今年は・・・

奥田民生の新作も出たし

シェリルクロウの新作も出たし

ブライアンアダムスの新作ももう直ぐでるし。

柴田淳のアルバムも出るみたい。

去年だけど、ベビーフェイスの新たな音源も出たし。

いやあー。いい年ですなあー。

いい年だ。

なんて・・・。

音楽はやっぱり素晴らしいもの。

最近、Mステで聞いた歌うたいのバラッドが衝撃的でした・・・。

本日の BGM ;

「歌うたいのバラッド // 斉藤和義」

「I'll Always Be Right There // BRYAN ADAMS」

「When you love someone // BRYAN ADAMS」

「Hey Baby // BRYAN ADAMS」

ホロっと。

2008年02月21日 20:57

近頃心が和らぐ、ホロっとする二つのCMが心にしみます。

1つ目は、あのソフトバンクのCM。(CM好感度 No.1らしい)
これまでの作品はピンとこなかったけど、犬父が旅に出た先で黄昏
ている所に家族から「どこほつつきあるいてんのよ」って言われる
バージョン。謝りつつ、そのあと父が旅館で黄昏てるやつ。
なんだか、じんわりシミジミします。

何故、父が犬か？

ジャーナリストが言ってたけど、昨今の家庭内のヒエラルキーを風
刺しているそうで・・・。

ヒエラルキー(階層；会社でいう社長、部長、課長・・・などの序
列)で、もはや家族の中で最下位になり下がった威厳のない父親が、
同じく階層が下であろうペットの犬と同化する事で、一気に階層の
TOPの座を奪う、というコンセプトがCMにあるらしい。

うーん、深い。

そう言われると、イッパイッパイ感で生徒を叱ったり、突然「ホーイッビ
ーアッビッシャス！」なんてKY発言するのも何となくわかるような・・・

二つ目は、大洋薬品の、子供が入院中の母を見舞うCM。

30秒ほどのCMだけど、不覚にも思わず泣いてしまいました・・・
内容は入院中の母を見舞うため、子供が花屋さんで花を買おうとす
るけど持っている小銭では買えないため、画用紙に花の絵を書いて
母を見舞う。母も枕もとにその絵を飾る、というCM。

いやあー、超短編感動映画みたいっす。

バックに流れている曲もいい！（沖縄出身の ji ma ma というシンガーソングライターらしい）

只今、人生のペースを噛みしめているものとして、人情味溢れる話と、お笑いはいいなあ、とつくづく思う今日この頃であり・・・。

本日の BGM; 「PLEASE DON'T LEAVE ME // BLUE MURDER 」

1/25000

2008 年 02 月 22 日 21:53

東京都の調査によると、都内には推定で 2 万 5 千人の引きこもりがいるそうだ。

そのうち年齢別にみると 30～34 歳が全体の 40%強を占めるそう。

以外だね！よかった！！

なんて言ってる場合か！

あなた、入ってますから！！！！

・・・気にしないもーん。

って・・・

・・・気にするけど。思いっきり。

今は少し客観的に静観期間。

・・・なんて言われてられない状況だけどね・・・。

でも、今はあえて自然にしている。

怠けてるんじゃないなくて、休養が必要だと思うから。

起こりうる事はシンプルで。

とらえ方は複雑。

だから悩む。

起こる事は容赦なく自分に降りかかり、

処理出来ずに

やり過ごす。

見て見ぬふりをして

やり過ごす。

それが出来るようになった自分は、果たして成長してるのかな。

思い出そうとして、瞬時にそれを打ち消そうとする思考回路は、最近身につけた。

Power Down???

「SWEET CHILD O' MINE // GUNS N' ROSES」

す、すげえー！

2008年03月04日 20:11

さっき、日テレニュース番組内の特集をみた。

「関西の幼稚園児、フルマラソン完走目指して」

結果から言うと、番組見る限りおそらくほぼ全員完走してた・・・。

凄い！ わんだほー！！ あんびりーばぼー！！

僕のなかでは、タイトル字幕みただけで驚きましたけど。

マジでえー??、って。

・・・あり得ん。あり得へん。ほんとに信じられない・・・

でも、ほんとだった・・・。

遠い昔、僕が幼稚園児だった頃の最長達成距離はおそらく家と幼稚園のキョリ、500m。

ごひやくめーとる！！ っって・・・だはは。

いくら病弱で喘息もちだった過去の自分と差し引いて鑑みても、TVの向こうの幼稚園児が信じられない。

しかも一緒に走ってる友達の心配までしてる。

・・・僕が他人の事を気かけられるようになったのは、一体何歳だったか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

少なくとも幼稚園の頃は初恋の○○ちゃんの事とか、きょうは「かんゆう」何粒食べられるんだろうとか、アルファベットビスケットでどんな文字が書けるんだろうとか、全くもって自分の事しか考えられない幼稚さ。

幼稚園児だから、普通？だよな？・・・。

にしても、今の子供たちの精神的年齢の高い事、恐るべし！！

映像みても、台詞話してんの??って疑ったくらい。

Topの女の子は6h45mで完走！！ すげえー。

日テレ55企画満載の東京国際マラソンに置き換えても、タイム的にゴール出来てるし。

すげえー！

高校時代に遠足15km??だったかな？

歩いただけで死にそうだったのに。

これからの人生の目標の一つにフルマラソン完走を掲げていたのに・。

ブラウン管の中の幼稚園児はわずか数歳にして、既にクリアしている。

・・。

テレビみてて思ったけど、もし自分がそんな幼稚園に通っていたら、劣等感と仲間はずれ感で、将来ひねくれていただろうなー・・・。

あ、今もひねくれてるか・・・。

なんて僕は只今1日中、学生実験みたいな仕事で腰痛気味・・・。

中腰が辛い・・・。

本日のBGM ; 「Fast Car // Tracy Chapman」

休眠打破

2008年03月30日 02:33

東京の桜が満開だ。

近所の乞田川沿いに整然と並び咲くその姿が美しい。

今年は「桜前線異常あり」のようで、ほぼ西から北上していく
例年とは異なり、今年は東京、静岡での開花・満開が全国で一番と
いう珍現象らしい。

原因は桜のもつ「休眠打破」という特性に起因するみたい。

10月くらいに活動をいったん休止、冬の寒い5℃くらいの気温が
続く事で再び活動に目覚めるとのこと。

その後は気温の上昇とともに開花・満開という命の営みのようで。
なんだかこの話を知って、よい意味でさくらに対する「儂さ」の
イメージが変わったというか・・・

温かさの訪れの象徴のように勝手に思っていたけれど・・・。

振り子の法則。

マイナスに引っ張られた分だけ、プラス分に届く。

今の僕も休眠打破を経た。

桜に例えるのは恐れ多いけれど・・・。

マイナスに引っ張られた分だけ、プラスに向っていて。

日々生きていられる事だけで、幸せ。

志が低い事とは次元の違う話。

身の回りに起こる事に心から感謝できる。

あきらめとは違う、心の余裕。

生きる事が少し、楽になった今日この頃。

・・・にしても、サクラってほんとにいいもんだなあ。

本日の BGM ;

「 東京 // 福山雅治 」

「 I THOUGHT I'D SEEN EVERYTHING // BRYAN ADAMS 」

「 not going nowhere // Kenny "babyface" edmonds 」

「 the soldier song // Kenny "babyface" edmonds 」

「 GET IT // PAUL GILBERT 」

「 GIRL CRAZY // PAUL GILBERT 」

「 DOWN TO MEXICO // PAUL GILBERT 」

「 SPACEMAN // NUNO BETTENCOURT 」

「 Cupid's Dead // EXTREME 」

新習慣

2008年04月09日 00:51

最近、必要に迫られて時間の有効活用中。

六時起床。

駅まで徒歩 10 分。

7 時前半の電車で GO。

15 分後、終着駅で下車。

社用バスで爆睡 30 分。

8:45 始業 17:00 終業

社用バスで爆睡 30 分。

20 分後、18:00 から夜の部、ハ^ッイ。

2～3 時間後、まかない夕飯。 0:00 過ぎ、ハ^ッイ終了。

実質的な終電は終わっている。

が！

車庫への回送がてらの AM1:00 近くでの電車で帰る。

ここが一日の肝とおもうのだが・・・

電車内で缶ビール(もちろん発泡酒以下のアルコール)を飲む。

最後部列車に最後部座席ゆえ、人目、はばからず。

家に着いてから飲むより、電車で予め飲んでおくことにより、帰宅

時にほろ酔い状態。 快眠街道まっしぐらのお膳立て。

そこまでして、酒のみみたいか？

はい、飲みたいです。

そして、朝を迎える・・・

今日もくたくた、っす。

本日の BGM ；

「LET ME DROWN // SOUNDGARDEN 」

「SPOONMAN // SOUNDGARDEN 」

勝手にベストテン！

2008年06月30日 00:43

近頃はまっている TV 番組ベストテン

- 1 テレ土 (ヤリすぎコーギー // 本番で一す！)
- 2 モヤモヤさまぁーず
- 3 はやく起きた朝は
- 4 人生の楽園
- 5 田舎に泊まろう
- 6 ザ・プロフェッショナル
- 7 きらきらアフロ
- 8 ズームイン・スーパー
- 9 アメトーク
- 10 笑点

1 今田&東野はやはりただものじゃない。千原 jr.のポジションも絶妙。

本番で一す！もレギュラー&ゲストの掛け合いの妙が面白い！

2 深夜番組の王道と思う。自ら「ずば抜けて面白くないのが、さまぁーず存続の理由」と言っていた。まさにタイトルと内容、出演者が見事にハマった番組！

3 「やっぱり猫が好き」よりまったりしていなく、適度に歯切れよく、さわやかな内容は日曜 6:30(関東)という放送時間帯にはどんびしゃ。

主婦目線の日常なにげないほのぼの話に心、和みます。

4 人生には、「楽園」が必要です。

5 文句無しのヒューマン・バラエティー。

6 この番組みると、モチベーション、あがります。

7 現代版「パペポ TV」。サカサマの破天荒さと、それをいとも簡単に扱う鶴瓶の天才的トーク術、炸裂！

8 西尾アナ万歳！！羽鳥アナ、シボウさんもナイスキャー！！
朝の憂鬱感が 8%削減されます。

9 最近仕事であんまり見れてないけど・・・傑作深夜番組！

10 永遠のマンネリだけど飽きないという、怪物番組だ！

テレビと音楽は欠かせないなあー。

俺ってば、思いっきり、インドア生活だなあー。

近頃、日テレとテレビ東京がいいっす！！！！

じつとこちらを見つめるピエロ。

冷静なようであり、少し「はにかんで」いるようでもあり、厳しい眼差しのようにも感じられる。

ベルナール・ビュフェの「ピエロ」

父親の友達に「塚さん」という人がいる。

還暦を迎えているけど、ハンサムできれいな白髪でインテリジェンス。札幌三越のデパートマンだったけれど、僕の実家のある町の牧場に婿養子としてやってきた人。

知り合った頃は政治的に裏がありそうで、少しけん制していたけど人間としての懐がとても深い人だ。

五月連休に帰省したとき、帰りの千歳空港まで早朝、車で送ってもらった。

毎週馬の買い付けに千歳近郊まで通っているらしく、そのついでに乗っけてもらったのだ。(クラウン・マジェスタで！！)

車中色々な話をした。

婿養子としての苦労話や、町の情勢、後継ぎの事や、映画や本の話に至るまで。

デパートの営業マンだったから、空いた時間を読書に費やしていたらしく、かなりの読書家らしい(以外でした)

彼は非常にポジティブで、いつも笑顔で、起こりうる出来事に対してもすべてを受け入れるような、人生を達観している人のように感じられた。

会話中「客観視」について突然、塚さんが語りだした。

身の回りの全ての事・・・自分以外と自分のその時々^の行動、感情に対して、物事を客観的に見ることの重要性を。

どういう話の流れでそうなったか、はっきりとは覚えていないけれど、彼の人間性の真に迫った感じがした。

偶然なのか必然なのか、僕自身ここ2～3年、「常に自分を客観的に捉える事」を心がけてきたから、その会話に「はっ」としたし、大袈裟にいうと運命的に、尊敬する人に共鳴できた気がして、とてもうれしかった。

「客観視」する事は、成長したいと思っているなら、とても重要なことだと思う。

昨今、「KY」って言葉がもてはやされているけど、ある意味良い風潮だと思います。

「客観視」と「KY」は表裏一体というか・・・

要はプライベート・仕事を問わず、「自分の置かれている立場、環境に対して、きちんと客観視して、どれだけ円滑に物事を進められるか」に尽きると思う。

(恋愛だけはそう簡単にいかないと思うけど・・・)

「客観視」を心がけている今日この頃。

真赤な背景にこちらを凝視するピエロ。

たしか、その絵に出会ったのは「府中美術館」

絵画の詳しいことは分からない僕に、じわじわと衝撃を与えた、独特の線描写や、色彩、構図。

ピュフェの絵。

好きになるのに理由なんかないけど・・・

ずっと惹かれてて、静岡のピュフェ美術館にも行ってきた。

そこには将来のお店の名前の候補に挙げていたのと同じタイトルの絵があったりして・・・

勝手に運命を感じています・・・

こじつけかも知れないけれど・・・

「ピエロ」に惹かれたのは、もちろん絵画として好きだからという理由の他に、「ピエロ」がどこか、客観的にこちらを見ている気がして・・・。

多分、僕はそこにピンと来たのだろう・・・。

ここ2～3か月の出来事を「客観視」してみました・・・。

塚さん。

囲炉裏のある家、是非実現を！

是非、飲みに行きます！

本日の BGM;

「パズル// 柴田 淳」

(From Tour 2007 ～しばじゅん、はじめました！～)

「幸せな歌// 柴田 淳」

(From Tour 2007 ～しばじゅん、はじめました！～)

人生は、わんつーばんち

2008年08月05日 13:57

一生懸命もがいてるけど、思った以上に事が進まない。

3歩進んで、2.5歩下がってる感じ。

俺ってば、愚かだなー。

ま、人間「バランス」というのが大切なわけで・・・

心と体が限界近くに達すると、無意識にバランスを保とうとしてるのかも。

愚かでも、ま、いっか。

おかげさまで、健康だし。

と・・・自己弁護してみました。

どうにもならない事がこの世にあるのなら、

どうにかかなりそうな事は無我夢中で追いかけようと決めて5年。

笑われても、ばかにされても、気にしない。

信念をもって突き進む。

年齢も性別も世代も超えて、

輝いてる人達に出会うと、少しだけ自信を分けてもらえる

気がします。

心も夏バテ気味・・・

本日のBGM;「GREMMIE OUT OF CONTROL // PEARL JAM」

アメトーク効果

2008年08月06日 01:51

今日の mixi ニュースにも載ってるけど・・・

副業の働き先、某中華料理チェーン店が大フィーバー中です・・・

僕が働いている店舗は駅ビル内にあって、ただでさえ毎日クソ忙しいのに、アメトーク放送後の反響が凄かった。

木曜放送後の週末は餃子が品切れし、閉店時間が一時間早まるし、未だにエンザ（鶏の唐揚げ）は毎日馬鹿みたいに売れるし。

ちなみに僕は「魔法の粉」はちいーとも美味しいとは思いませんね・・・

ババで入ったものの、忙し過ぎて、何度辞めようと思ったことか。

近隣の飲食店と同じような時給で働いてると思うと泣けてくる。

ま、それだけいい経験してますけど・・・

同一駅ビル内の飲食店の中では一人勝ち状態（店長談）

はっきり言ってどうしてここまで人気があるのか、はっきりとした理由がわからない。

けれど店長曰く、飲食店で黒字経営をずっと続けているのは
○子の○将くらいだそうだ。

商売のお手本としては勉強になるから、自分なりに繁盛の理由を分析中です。

けど・・・声を大にして言えないけど・・・

やっぱりどうしてここまで繁盛しているの???

と、疑問を抱く理由もあるわけで・・・

・・・父さん、関東の夏はまだまだクソ暑いです（ジーン）

ゴキブリが飛んだ日

2008年08月12日 03:32

人生って、

儂いものだし、

滑稽だし、

単調だし、

しょっちゅう嫌になるし、

時々素晴らしいものだし、

手放すの？ 手放さないの？ って、言われりゃ、

手放さないし、

とりあえず、生きたいし。

でも、生きている事は、きっとちっぽけな答えしかない気がするし、

(by スガシカオ)

生きてる意味なんか死ぬまでわからないとも思うし。

暑さを助長する蟬の鳴き声と、道端に無数に散乱する蟬の死骸。

どうして、どうして、どうして・・・。

何故ここまで心惹かれるのか・・・

人間の時間軸でいうと、蟬はきっと幾多の困難を乗り越えて

一生を終えるんだろう。

成虫してから一週間の命といえど、セミは人生を全うしてるはず。

生き切る。(瀬戸内寂聴か！)

セミも人も同じと、思う。

つまらない日々も、

気合に満ちた日も、

なんだか元気な日も、

なんだか憂鬱な日も、

ありのままの自分で生きていく。

自分なりに生き切る。

少しだけ厳しさを噛みしめ、

でも、自分を壊すほどの無茶はいらない。

生き抜く。

半月同居していたカブトムシ級のゴキブリは、

おととい、叩きのめしました。

深夜帰宅時に、天井で発見。

壁を凄いスピードで移動しましたが、追い詰めた結果・・・

羽を広げ、向かってきました。

ゴキブリよ、

もう少し、ずる賢く生きる生き方が、あるでしょうに。

どうして、どうして、どうして・・・

蝉は蝉で生きてるし、

ゴキブリはゴキブリの世界で生きている。

人も人なりに生きている。

愚かかも知れないけれど、

それぞれに一生懸命、いきている。

意味なんかない。

生かされて、いる。

『Stand By Me // Jhon Lennon』

君のためなら千回でも

2008年09月03日 01:09

思い出は、「きちんと」整理して
心にしまっておくべき、だと思う。

悲しかったこと。

楽しかった事。

辛かったこと。

ほっとしたこと。

ハラハラした事。

人を慈しんだ事。

決して忘れられない過去を

交じりつけなしに、探し出せるように。

良いことも、辛いことも、時々引出しからひっぱり出してきて
思い出す。

思い出せる思い出も、思い出せない思い出も

心の端っこに存在して、

今の心に現れる。

そうやって人って、繋がっていくんだと、思う。

「THE KITE RUNNER」は佳作でした。

「INTO THE WILD」も観たいっす。

本日の BGM ; 「AIN'T MY BITCH // METALLICA」

モラル

2008年11月03日 02:33

批判とかあまり書きたくないんだけど・・・

最近、接客（全国チェーン繁盛店）をしてて思うこと。

お客様というのは、本来勝手なもの、仕事柄、肝に命じているんだけど・・・

（大方8割方は心遣いをいただけるお客様だけど・・・）

でもやっぱり、どうしても許せない客は下記3パターン

1. 携帯電話で話しながら、注文、会計する客
2. 仲間音源を聞いている客（携帯型ゲームに興じている客含む）
3. 急いでいる（電車やバスに遅れる）からと、自分で注文しておいた料理をキャンセルして帰ってしまう客（既に作り始めている場合もある）

1,2 は、お客様の方が、チェーン店だからと気兼ねなくしている行為なのかも知れないけど・・・

こちらは誠心誠意、接客しているので、悲しい。

3は論外。そのひとの品格、ゼロです。

先週行った仙台の「オーガニックカフェ」の会計に、

「店内での携帯電話通話しながらの注文、会計はお断りします」

（正確な表記は忘れたけど・・・）旨の注意書きが置いてあった。

今後、色々な所に普及していくんだろうな、と思う。

くさくて、鼻をつまんでしまいそうな言葉だけど・・・

僕は、お店とお客様は「愛」で結ばれているべきだと思う。

チェーン店だって、常連のお客様とは「阿吽の呼吸」で接客、応対するし、大多数の感謝の意を表してくれるお客様も、こちらの誠意を受け取ってくれる。世の中には色々な人がいるし、それぞれ自分の事情で生きている。だから、「自己ちゅう」と思われる人も2

割くらい居て当然なのかも 知れないし、実際そうだと思う。

でも・・・ 反面教師って、必要なんだな・・・

そこを吸収して、少しでもこちら側に取り込む。

そこがより自分を成長させる試練と思ふ、のであります。

そんな、こんなで・・・

「モラル」に反する人たちには・・・

「プライド」を持って接していく所存でございます！！！！

PS.

仙台「利休」の牛タンは格別です。

駅西口の店舗は行列が出来ますが（300m 歩くとすいている他店舗があるけれど）雰囲気、接客、味、共に申し分ないです。

やっぱり美味しいもの食べた満足感って、

1. 料理がおいしい
2. お店の雰囲気（接客含め）がいい
3. 値頃感がある

に尽きるのではないのでしょうか???

仙台は改めて、いい街だなって、思ったなー。

街を歩いていて、なんかインスピレーションが沢山湧くというか・・・

（何様↑）

「しばじゅんパーティー」

いやああー、良かったなああー！！

ハイレベルな演奏とヴォーカルがプロの凄さを認識させられた。

生の芸術に触れることの大切さが身に染みた・・・

目に見えない、心の糧、ですな、、、

本日のBGM； 「カラフル // 柴田淳」 「ため息 // 柴田淳」

「ぼくの味方 // 柴田淳」

現時点で生きる事への執着はなくなった

2008年11月10日 01:13

なんて重いタイトル！！

でも、今、そんな心境。

何か悩んでる訳でも、死にたいと思ってる訳でもない。

人生に失望してもいないし、かといって大きな希望も抱いていない。

35歳で独身の僕にとって、なんだか人生の山道を登りきったような感覚が少し、ある。

お釈迦様の天竺みたいに、そんなことは決してないのだろうけど・・・。

何かを成し遂げた訳でもないし、安定した生活すら未だ手に入っていない。

けど、

しっかりとしたココロの根っこが、揺るぎなく下へ下へと伸びている事が実感できる。

形なきものだけれど・・・。

家族を得て、守るものを手にした時、きっとまた違う心境に達するんだろうとは思うんだけど・・・。

自分自身、本当にタイトルの心境に達しているのかな？って自問自答してるんだけど・・・

でも本当にそう思っているなら、あとの人生は「おまけ」みたいなもんだ。

これからも山を登っていくぞっ！！じゃなくて、

どう下っていくか。

なんだかそんな感覚でこれから先、いった方がいいかなと。

柴田淳のライブに行ってきた。

ライブというか、「コンサート」、いや「パーティー」に。

どんな潜在意識や深層心理が自分の脳とココロで働いているのか論文にはまとめられないのだけれど、

「この人の歌を生で聞けたら、俺、死んでもいいかな」

そう思ってた、ここ数カ月。

なんとなく。

衣食足りて、なんとやら。

一年前、温かい寝床と食べるものさえあれば生きている事が幸せと、生きてきて初めて感じた。

そんな極限の状態、彼女の歌に出会った。

天賦の才能と思える圧倒的な歌唱力で、彼女は歌う。

切なさや孤独の中に、力強いやさしさが、ふと感じ取れる。

ありのままの自分を公に曝け出して、彼女は創作する。

そんな素朴さや懸命さが、心を打つ。

勿論、ソングライティング能力が高いからこそ、なんだけど。

誰かのものではなく、自分自身からにじみ出るものだから。

体よく、上っ面をなぞらえる音楽なら、この世にごまんとあるけれど、

「本物」は数少ない。

「本物」はいつだって、「少数派」。

結局、苦しむのは、自我の欲求であり欲望があるから。

人は変わらないし、変えられない。

心は繋ぎとめられないものだし、いつだって不確定要素に満ちてい

る。

だからこそ、「揺るぎない自分」でいなきゃいけないと思う。

「悩む」事は極論すると時間の無駄だし、生産的じゃない。

「葛藤」することは必要だと思うけど、どうにもならない思いに時間を費やすのは、潜在意識的な暇つぶしだと思う。

これまで散々悩み、苦しみ、無駄な時間を過ごしてきた、そう思う。

生きる事への執着が無くなったのは、今ここにある幸せに心から感謝できるようになったから。

ただ今日も生きていられる事に、希望と勇気を抱けることに感謝して。

本日の BGM

「紅蓮の月 // 柴田淳」

「ソラアイ // Every little thing」

「薄荷キャンディー // kinky kids」

ばいおりん

2008年11月29日 13:30

最近、久々に「超☆感動体験」をした。

それは、しばじゅんのコンサートでの話。

ステージ構成はボーカル、ピアノ、ギター、ベース、ドラム、ストリングス（バイオリン 1,2、ビオラ、チェロ）というシンプルなもの。

そのなかでひと際輝いて見えたのが、第一バイオリンの伊勢三木子さん。

もちろんしばじゅんの歌、他の名だたるミュージシャンの演奏も素晴らしかったんだけど、主役を喰ってしまうくらいの存在感があった。

完全に僕は伊勢さんに釘付けでした。

顔は見えないうらい遠いんだけど、凜とした出で立ち、育ちの良さが

オーラとなって発散されていて、品格があるというか・・・。

あああーーーー、お金持ちに生まれたかったなあーーーー！！！！

「はい、三才から親の英才教育でバイオリンを始めまして、小さいころからクラシック音楽に慣れ親しんでいました」

・・・みたいなの。

あー、俺なんかやり場のない青春時代を、大して弾けもしないギター

で発散させてたのが、オチだもんなー。

ロック最高！

ディストーションの歪、万歳！！

みたいなの。

とりあえず基本コードとペンタトニックスケールは
押さえておこう、みたいなの。

フランス料理も美味しいし、ラーメンだって美味しい。

クラシックはクラシックで素晴らしいし、

ロックはロックで素晴らしい。

でもどうしたって、普段食べ慣れないフランス料理がとびきり
美味しかったら、そら、衝撃受けるわな・・・。

昔から、ギターを趣味で弾いてた頃から、バイオリンの奏でる
音色にとっても惹かれてた。

僕の心の琴線に一番触れるのが、バイオリンなのかも。

悔しいけど、平均的に言って、ギターより上かなと・・・。

バイオリン、習おうかなー。

安物で、いくらするのかなー。

ピアノとストリングスだけで、結構、演奏って成り立つんだなあー。

よし！！！！

バイオリン、始めよう！！

とりあえずの目標は・・・

・・・

さだまさし！！

彼は・・・、偉大だ。

でもなあー。

品のある人が弾いているからこそ、ストリングスやクラシックの楽
器 って映えるんだろうな・・・

ま、いっか。

プロ目指す訳じゃないし・・・

ロックオン。

人生の目標、ロックオン。

1. ニセコに愛され続けるパティスリーを持つ
 2. 人の集まる憩いの場を設ける
 3. 自ら楽しんで、憩いの場を盛り上げる
- よし。

目標だけは「いっちょまえ」だ。

「志」が大事。

人生正しく生きたか、ではなく。

人生いかに楽しんだか、だ！

(よっ！ロックだねえー)

少々無茶な目標は「ロック魂」という名のもとに、

自己実現をするための目標は「品格」という名のもとに

きっと「大丈夫」

そう思って進んでいこっと。

自己完結・・・

本日の BGM;

「夜の海に立ち // 柴田淳」

「CROSS ROAD // CREAM... ERIC CLAPTON」

叫び

2008年12月08日 02:35

日々、生きられるだけで幸せ。

なんて、近頃思っ日々過ごしていたけど、、、

結局、何かにすがろうとしている自分がいることに気づいて、愕然とする。

手に入れたいものが、この手からするりとこぼれ落ちていく。

目の前で起こることの全てを受け入れて、

それでも尚、前へ前へと突き進む。

僕はその信念をこれから先、ずっともち続けられるだろうか。

皮肉にも、

孤独の隅に追いやられれば追いやられるほど、

僕は生きるエネルギーを、その加速度を増していく。

そんな夢見事のような目標に向かうことでしか、

自分を保てないでいる。

可哀想なやつ。

試練はひとつづつ、乗り越えませんと。

深く考えすぎず、

次にどう進むか。

思考は何も答えを出してくれませぬ。

Move!!!

本日の BGM ;

「NATIVE TONGUE // POISON」

「THE SCREAM // POISON」

スキヤキ・ソング

2009年01月23日 05:37

再放送中の「ひとつ屋根の下2」ですき焼きを食べるシーンが

出てきて、ムショウにすき焼きが食べたくなった。

実家のすき焼きは柏木家と同じく、豚肉すきやき。

祖父が牛肉を好まなかったから、嫁である母の気遣いだったんだろう。

僕が初めて牛肉のすき焼きを食べたのは、新卒で入社した自分の
歓迎会での事でした。

20代前半で、初の牛すき！！（笑）

でも豚肉のすき焼きは美味しかったなあー。

（その頃は牛すき食べたことないから比較しようもないんだけど・・・）

毎年、正月以降は金曜の夜にすき焼きして、土曜のお昼は
残ったすき焼き鍋におもちをいれて食べるというのが定番でした。

その名も、「肉もち」

超、美味しかったなあー。

すき焼きより、毎回こっちの方が楽しみだったもんなあー。

スキヤキ、か・・・。

たった一年半前のこと。

僕は人生で何度目かの、人前での悔し涙を流した。

情けなくて、かっこ悪くて、自分が惨めだった。

34歳の大人の大人が・・・。

面と向かって、「お前なんか、いないほうがいい、必要ない」

そう、言われた。

涙が溢れ出た。情けないけど、その涙は止めることが出来なかった。

その時、有線では坂本九の「見上げてごらん夜の星を」が流れてた。

ふと、我に帰った時のその状況は、ますます僕の涙腺を刺激した。
色んな思いがシンクロして・・・

あのときの記憶はきつと、一生忘れない・・・。

思い入れのある曲や、素晴らしい曲は沢山あるけれど、
何故だか自分の骨身に染みしてくる曲、というのがある。

「見上げてごらん夜の星を」

十数年前のドラマ、「ウーマンドリーム」内のワンシーンで
裕木奈江が歌っていた曲。

初めて聞いたとき、「いい歌だな」って思った。

裕木奈江ファンだったから（←おいおい！）、

My 邦楽バラード集の一曲としてMDに入れて聞いていた。

やがてその曲は坂本九の持ち歌だと知った。（遅っ！）

坂本九さんは日航ジャンボ機の事故で亡くなられた。

僕の記憶に間違いがなければ、小学生だった僕が参加したスポーツ
少年団の夏キャンプにゲスト出演した数日後に事故で亡くなられ
た。

それはただの偶然の出来事なのだろう。

その頃、僕にとって坂本九は「24時間テレビの人」といった、自分
勝手な認識しかなく、全米 No.1 を獲得した歌手だなんて、まるで
知る由も

なかったのです・・・。

「なんだか、奥深く、いい曲だなあー」

そう思った曲がまさか十数年後、まさに修羅場を迎えている自分
の耳に入ってくるなんて、

それはただの偶然の出来事なのだろうか？

その曲に対して、なんとなくくすぶっていた思いが、
どん底の境地にいた自分に突き刺さる。
だから、余計に、涙が溢れ出た、
コントロール不可能な程に・・・。
どんな状況にいても、希望は持ち続けたいと思う。
そう思い続けることは、とても難しいけれど。

本日の BGM ;

「上を向いて歩こう / 坂本九」

「幸せなら手をたたこう / 坂本九」

「明日があるさ / 坂本九」

「涙くんさよなら / 坂本九」

「見上げてごらん夜の星を / 坂本九」

シフォンケーキ、失敗しましたけど、なにか？

2009年02月20日 04:59

奥深い。

シフォンケーキって、奥深い。

35歳にして初めて、シフォンケーキを作った。

知人に頼まれて。

事前にネットで調べたら、このお菓子、なかなか侮れないらしく、最初は失敗する確率が高い、とのこと。

入念に下調べをして、作ることに。

失敗しないよう、型はアルミ製を使用。ルセットは学校の配合を採用することに。

大きなポイントは2つ。

1. ミクスチャー側（卵黄、牛乳、サラダ油、砂糖、洋酒小麦粉）の小麦粉のグルテンの塩梅（生地の粘り具合）

2. メレンゲをしっかりと立てる

計量し、いざ作り始める。

作り方は超簡単。

ミクスチャーは順序通り、生地の状態をみながら混ぜるだけ。

メレンゲもハンドミキサーを使っているのでも、両手を悶えさせながら、泡立てる必要もなし。

生地が完成。型に流し込み、空気抜きをしていざオーブンへ。

膨らむかなあー（B.P 入れてないし・・・）、とドキドキ

しながら待つこと10分少々。

おおっ！膨らんできた。

よし。（第一関門突破）

待つこと40分。

おおっ！！

ネットでみた成功例と同じ状態だ！

適度に型から生地がはみ出し、少し割れている。

よしっ！（←この時点で完全に成功したと思い込んでいる）

逆さにして、冷めたのでいよいよ型抜き作業。

パレットを使い型と生地を離す。

頭の中ではシフォンケーキのあの綺麗な円柱状の形がイメージされている。

型を外す・・・。

どきどき。

ドキドキ。

おおっ！

おおおおおおっ！！

見事にしぼんでる・・・。(ToT)/~~~)

おばあちゃんのオッ○イみたいだ。

（不適切な表現をお許してください）

完全に僕の心もしぼんでしまった。

恐るべし、シフォンケーキ。

事前にネットで見た失敗例の数々が思い浮かぶ・・・。

悔しいのでその場でムシャムシャ食べた。

生焼けだった。

ヘコむ心と、原因追究を重ねる頭。

生焼け生地をパクパク食べる。

多分、焼成温度が低かったんだろう（ちなみに 160℃で焼いた）

悔しいから今日もう一回作ります・・・。

焼き縮んだってことは、もう少しグルテン出した方が良く？

メレンゲもこれでもか！ってくらい固めの方が良く？

焼成温度 180℃くらい？

など考えつつ、朝を迎える訳で・・・。

第2弾の報告を待て！！

（誰も待ってねーか・・・）

本日の BGM;

「your new cuckoo // THE CARDIGANS」

「lovefool // THE CARDIGANS」

やり場のない思い

2009年02月25日 03:54

もう、十何年も同じことの繰り返し。

いい加減、我ながら呆れるけど。

でも、プラスに作用する事もある。

行き場のない思いが、少しずつ、日々積み重なって、

頭で解決しようとするんだけど、

出来なくて。

酔っ払って、逃げる。

でも、そこには音楽がずっとずっと、いてくれて、

とても心の支えになってくれる。

頭で考えるんじゃなくて、感じ取る。

1+1=2 じゃない世界がそこにある。

自分の所有しているものを見渡して、自分が何を大切に

生きてきたのかわかる、って聞いた事があるけど、

俺の部屋の真ん中には、いつも、

中学から、音楽が支配してたなー。

ハードもソフトも。

語弊を覚悟で言えば、

偽物は受け付けない。

だから、未長く聞く音楽はミュージシャン、若しくはシンガーソングライター。

有名でも、歌が上手くても、

伝わらないものは、伝わらない。

何も感じない。

所詮、人の価値観だけどさ・・・。

こうやって、とりとめのない文章を書いていること自体、

やり場のない事の証明なんだけど・・・。

・・・そうやって、日々、過ごしてきた。

「夜の海に立ち // 柴田淳」

もう、何回目？

でも、名曲です・・・。

しあわせの風景

2009年02月28日 16:27

土曜の昼下がり

天気はあいにくの曇り空

心もおんなじ、曇り空

コーヒーを飲みながら

焼いたクレームブリュレが冷めるのを待っている

と言っても、完成まであと一時間以上待つんだけど

ボーッとして、妄想にふける・・・

お昼過ぎ、彼女より早く起きた僕が

彼女が起きるまでの間に、彼女への思いを馳せる。

そして彼女が目覚めた時、感じた幸せと愛おしさを

どう伝えようか、、

聞く度に切なくなる、Every Little Thing の名曲

「しあわせの風景」

ごく普通の、よくあるような、珍しくもない風景。

いいなあー。くう—————っ！！

(妄想ここまで)

ブリュレが冷めたら、表面にカソナードをふって、

バーナーで焼き焦がすぞ。

あー、砂糖なんか焼き焦がしてる場合じゃない。

心が焼き焦げるような恋がしたいなあー ((ToT)/~~~)

.....

お後がよろしいようで・・・。

本日の BGM ; 「しあわせの風景 // Every Little Thing」

下北・ブラブラ

2009年03月03日 00:37

今日は前に勤めていたお店の人（僕を含めて3人）同士で下北沢近辺でふらふら。

パティスリーで午後のひと時を満喫して、北風が吹く中、徒歩で下北沢まで移動。

久しぶりのパティスリー巡りだったけど、やっぱりお店に出かけて色々な事を感じ取る事って、とても大切だと思いました。

（特に東京は電車賃さえ惜しまなければ、そういう事に恵まれ過ぎた環境と、ふと、思ったわけで・・・。）

雑貨屋を見て回り、完全にケーキを消化した三人のお腹は既に呑みモードに。

ちょっと行きつけの飲み屋があるということで、優柔不断の二人は任せっきり。

案内された飲み屋は、店内の雰囲気よし、接客よし、味よし！
でとっても美味しくて、大満足でした。

お酒が進むにつれ、どんどん話し込む僕。

うんうん、って聞いてくれる二人。

そういえば、前回もそんな感じだったけど・・・。

やっぱり、心底、三人で飲めて楽しかったなあー、って
そう思えるひと時でした。

ラジオで言うと、周波数が合うというか・・・

さんざん、思いのたけを語った僕に対して、

励ましの言葉ばかりを、くれたこと。

とっても勇気づけられました。

限界は自分で決めないつもりです。

ちょっとずつでも、常に目標をクリアしていく
人でありたいな。

今日は二人から、とってもモチベーションを
貰いました。

ありがとう！

つちこ。

にしこ。

本日の BGM ; 「C'Mon C'Mon// SHERYL CROW」

感・消・創・喜

2009年03月15日 03:57

今の自分の生き様？

というか、

信念を表わすなら、この四字かな？

- ・自分なりに感じて、
- ・一旦自分なりに吸収、消化して、
- ・生み出して、
- ・喜びを感じてもらえたら、

それが、糧。

生きてく上での。

自分という存在を保つ、おまじない。

本日の BGM ; 「空も飛べるはず//スピッツ」

重大事件・発生

2009年03月27日 03:30

昨日の mixi news で、

カップヌードルの四角いミンチ肉が、チャーシューに
変わるとのこと。

日清さんも、気合いが入っているようで、これを機に
カップ麺市場を活性化させたいそうだ。

意気込みは、買う。

けど、でも。

やめちくりー！！！！

どんな味かは、未知数なれど・・・

カップヌードルの魅力の2割は

あの、ミンチ肉ではないかいな！

あの、良い意味でチープな、

そして、海老、卵との見事なまでのマリージュ。

中途半端に、角切りチャーシューなんて、

許されへん（涙；）

でも、天下の日清さん。

きっと、いい方向に進むことを期待して・・・

MY 世界 逸品 Best 5

に入るカップヌードル（ちなみに他、フェーラーリ、レスポール、
が肩を並べますが、なにか？）

永遠に世界の逸品であって欲しいです。

期待と不安が、勝手に渦巻く今日この頃・・・。

本日の BGM 「イナピカリ // 奥田民生」

それでも道は続いていく

2009年04月03日 20:09

実家を離れて、早いもので15年。

ちょっぴり自分の殻を破って、本州へ渡ってきてから15年。

宮城(4年)→山形(5.5年)→新潟(2.5年)→東京(3年)

色んな事があり過ぎたけれど、振り返ると、

人のありがたさだけが、身に染みるかな・・・。

無邪気に夢を追いかけたり、

希望に満ちあふれたり、

戸惑うくらいの虚無感に悩まされたり、

毎日途方にくれたり、

自分自身に自信がもてなかったり、

周りの人に励まされたり、元気づけられたり、

人生って、半々、って思う今日この頃。

年代も、性別も超えて、僕は本当に色んな

人と出会ってきた。

みんなそれぞれに輝いてて、会う度、エネルギーを貰ってた。

いちいち、感謝の気持ちは伝えられないんだけど、

確実に僕の心には蓄積されている訳で。

心からのありがとう。

どこにいたって、僕は僕。

みんなは変わらず、みんなのまま。

会おうと思えば、いつだって会える。

だから、さみしさは軽減される、かな。

僕は本当に、人に、出会いに、恵まれていたと思う。

思い出を、ほじくり返す。

必要な時に。

沢山の、ありすぎる思い出がある僕は、

本当に幸せだと思っ

戻ります。

今までで一番大きな夢と、一番厳しい現実の待つ場所へ。

本日の BGM

「花吹雪/柴田淳」

「Progress//Kokua」

東京

2009年04月09日 14:29

あと二時間で引越し屋さんが来て、
荷物を根こそぎ持っていく。
結構色んなもの捨てたのに、
結構まだ、荷物多いなあー。
東京での三年間は本当に色んな事があって、
予想はしていたんだけど、
「濃縮還元的・生活」

でした。

でも今までより、ずっと早いスピードで、
少し前に成長できた、と思う。

8年前にあった虚無感は、今はもうないし、
6年前に方向を見定めた自分の決断は、間違っていなかった
4年前に東京に来ることを決めて、
2年前、目標の只中にいた自分を思い出すと、滑稽（笑）
今現在、とっても心がナチュラルで、
ここ数年は自分なりに、必死で一生懸命、
まあ、よくやってこれたな、って思う。
これから先、楽しみです・・・
今のところは今日の天気とおんなじ。

快晴

また近いうち、mixi日記に戻ってきます！

本日のBGM ; 「EAST SIDE STORY //BRYAN ADAMS 」

15年ぶりに実家へUターン

この先どうしようかな？パティスリーも辞め、フリーターとして、東京での生活3年目を過ごしていたが、半ば人生に打ちひしがれていた。その時に家族から実家に戻って来ないか？と言って貰った。素直に有難かったが、自分はずくづくダメな人間だと情けなかった。自分でも色々考えた末、実家へ戻りお菓子を作る事に決めた。宮城、山形、新潟、東京と続いた本州での生活に終止符を打ち、北海道の実家へ戻る事にした。

家に戻り、仕事を始める前日にいままで出たことのない「じんましん」が全身に出た。それまで引っ越して新しい土地に行っても、特にそういう事も無かったので、知らず知らずに実家で働くという事に、重圧を感じていたのかも知れない。

実家へ戻って5年。おかげさまで両親も元気で父親が和菓子をづくり、僕が洋菓子を担当している。母親は「スーバーマン」みたいな人で本当に良く働かし、サポートもしてくれる。でも、いつまでもあると思うな、「親」と「金」と「ベンチヤーズ」。この先お店をどうしていこうか、今はまだ父が社長をしているけど、僕が今後の方向性を決めて行かなければいけない。

生命力と旬の間で

2009年05月12日 21:27

実家に戻って、はや1ヶ月が経ちました。

胃だ、腸だ、じんましんだ、高熱だ、と・・・

思ったより、精神的に環境の変化に敏感なようで。

体調崩しつつ、でも毎日3食しっかり。

毎日の筋トレも追いつかず、

腹部、成長中。

・・・太りました。(標準体型になっただけだべさ・・・)

この地で生活していると、

季節感が直球で入ってくる。

人の話だったり、

食材だったり、

風景だったり。

そんな田舎暮らしが、大好きだ。

離れてみて、つくづく、その良さがわかる。

離れてみたからこそ、わかる。

それらは別に、田舎じゃなきゃ無い、ってものでもない。

でも、この地の人たちは、輝いている。

なんていうか・・・、生命力に満ちていて、力強い。

「見返り」のない、「お互いさま」の繋がり。

毎日のように「旬」の食材をいただく。

アイヌねぎ (行者にんにく)

生ホルモン

葉わさび、根わさび

白カブ

ホッキ貝

フキ

ねぎ

ゆりね

よもぎ

アスパラ

ジャガイモ

霜降り牛

味噌

にんにく

わらび

たけのこ

ほっけ

etc . . .

色んな人たちが、届けてくれる、自然の恵み。

人の温かさと、素材そのもののおいしさ。

僕は作り手としては、まだまだ、まだ、未熟だけれど、

こういう土地で育ってきたバックグラウンドは、

とても大きく、僕の財産だと思っている。

毎日試作に明け暮れて、

商品として納得できるものから、

なかなか納得できるものに仕上がらないものとか、

ただいま、試行錯誤中。

けど、毎日がほんとに、楽しい。

一日も早く、儲かる商売にしていかないと。

儲ける事が目的なのではなく、手段だって意味で。

自分の頭の中いっぱい膨らんでる思いを達成していくには、利益を出していくことが、最優先課題です。

行き着くところはひとつ。

僕の生きている源へ。

この時期、ニセコ連峰と羊蹄山の残雪がすこぶる、きれいです。

本日の BGM ;

「春の歌 // スピッツ」

「正夢 // スピッツ」

なんだ、かんだ

2009年05月27日 21:25

なんだ、かんだ、忙しく。

毎日、充実してるのかなあー。

でも思ってるより、案外、多忙な毎日。

まさかの新商品・第1弾、『オペラ』に始まり、

新たに生菓子、6種類がラインナップに加わりました。

数が多けりゃ、いいってもんでもないけど・・・。

色々考えて、少しずつ、増殖中。

でも、シュークリームは、やっぱり売れてくれます。

品数が多けりゃ、いいとも思っていないけれど、

どんなに田舎でも（一日の来客数がヒトケタなんて事も・・・）

やっぱり、お菓子屋へは『ワクワク』して、訪れたい。

そう思って、今は地道に目標に向かってます。

今日の試作『ガレット・ブルトンヌ』は期待できるかも。

試食は明日になるけど・・・

本日の BGM ;

『How can you do what you do // MR.BIG』

『Anything for you // MR.BIG』

6月病??

2009年06月24日 20:58

今年の北海道は『蝦夷梅雨』、だそうな。

本州の梅雨のように「高温多湿」ではなく、

「冷やっと、どんより」なんだそう。

なんだか最近、プチ鬱気味です。

4月、5月は必死に働いてた気がするんだけど、

6月の中旬過ぎからどうも、体が重くて、心もブルー。

僕の心も「蝦夷梅雨」みたい。

小さな事が積み重なって、ボディープローのように効いてきて。

お酒も美味しいし、食べ物も美味しい。

でも何だか、一人で空回りしているような・・・

贅沢病だな。

やっぱり、人間って極限に追い詰められた状況じゃないと、

精神も研ぎ澄まされないし、成長の度合いも遅いんだな。

今の俺、怠けてる。

朝から晩まで働いてるけど、どこか逃げてるな。

ダメだなあー。

ふうーー。

プロフェッショナルとは？

「自分の限界と可能性がわかっている人」

・・・いい言葉です。

本日の BGM ; 『Progress // kokua』

平井さん Love

2009年07月10日 22:28

36歳になりました。

さて、

最近の「癒し」は気象予報士の平井さん。

月～金曜のNHK「ニュースウォッチ9」のお天気担当キャスター。

彼のしゃべりを聞いていると、一日の疲れが吹き飛びます。

抑え気味のトーンと、人の良さが伺える話し方、そして巧みな

タッチパネル操作（わかって貰える人にはわかって貰える！）

とにかく、毎日21時40分頃になると、「そわそわ」してます。

これって、なにフェチに該当するんだろう??

昔から、落ち着いたトーンの話し方をする人（性別、年代問わず）

にうっとりしてしまう自分。ほんと、何フェチ??

リトル・カミングアウトな誕生日。

本日のBGM ; 「CROSSROADS(LIVE) // ERIC CLAPTON」

生命

2009年07月18日 00:05

今日、甥っ子が誕生しました。

どっちの家系にとっても、初孫。

待ちに待った、赤ちゃん、誕生。

姉は以前、腎疾患を患っていて、出産は他の人より、
リスクが少しだけ、高めでした。

加えてプチ高齢出産（37歳）

自然分娩の予定でしたが、血圧が上昇し、

急遽、本日帝王切開にて、無事出産しました。

札幌まで2時間、母親を乗せて、出産に立ち会ってきました。

サプライズだったのは、生まれてきて初めて「男の子」
だってわかったこと。

病院の診断でも女の子と言われていたようで、

姉の旦那さん曰く、

「万が一にも男の子の名前、考えてなかった・・・」

そう・・・。

今の世の中でも、こんな事、あるんですね。

クリニックとかだと、正確にわかるみたいだけど・・・。

でもまずは、ほんとに母子ともに健康で良かった。

・・・

札幌市内。

ポプラ並木を見渡せる病院。

9階が産婦人科で、4階が手術室。

帝王切開手術後、赤ちゃんが先、母親が追って登場、
の段取り。

我々親族は、業務用エレベーターが4階からあがって来る

度に、ハンディカメラや、携帯、デジカメを構え、右往左往。

何度、はぐらかされた事か・・・

でもちゃんと赤ちゃんはやって来た。

元気に、元気に、この世に生まれてきた。

2500g以下と、少しだけ小さかったけど、泣き声も元気。

どれだけ感動するんだろ、って思ってたけど、意外と冷静でした。

でも赤ちゃんをみていると、かわいいとか、そういう次元じゃなくて、

本当に、本当に、

この世に生を受けてきて、「おめでとう、ようこそ」

って、思いました。

親じゃ無いけど、ずっとずっと、生まれた甥っ子の一部始終を

追いかけてました。

人の命は尊い。

当たり前なんだけど、普段は薄れている意識。

「どうして生まれてきたんだろ？」

そう思う事も、何度かあったけど・・・。

答えの全てじゃないけど、

甥っ子の力強い泣き顔をみて、

偶然じゃない、必然の力を感じました。

おめでとう。

しばらくおじさんの特権で溺愛しまーす（汗）

本日の BGM

「The Day(That You Gave Me A Son) // BABY FACE」

「I'll Make Love To You (From MTV UNPLUGGED) // BABY FACE」

「END Of The Road (From MTV UNPLUGGED) // BABY FACE」

日常

2009年07月24日 20:12

甥っ子が生まれたり、
些細なことで、父との確執が起きたり、
変化の無い日常に、少し嫌気が差したり・・・
最近、珍しく夜、寝られません・・・
でも、けど、
それなりに自己対処出来るようになりました。
やっぱり、
変わらず、
水戸黄門の印籠みたいに、
『音楽』
に救われている。
一生、追いつけない憧れの存在、

『ミュージシャン』
もっともっとスキルアップ、しないとね。

本日の BGM ; 『ポロメリア //COCCO 』

地元の同級生

実家に15年ぶりに戻って来たのが36歳になる年。

蘭越は集落が分散していて僕が小学生の頃は、港、名駒、三和、御成、目名、蘭越、昆布、湯の里の8校の小学校があり、(現在は蘭越、昆布の2校しかない)それぞれの生徒が蘭越中学校に集う、という環境でした。そこそこ中学校時代にみんな打ち解ける。僕は隣の高校に通ったので、実家に戻って来た時に小中学校のそれこそ皆が幼馴染みたいな同級生に飲み会に誘ってもらえた事が凄く嬉しかったし、感謝しています。地元に残っている同級生も多く、今では町内ミニバレーボール大会に同級生でチームを組んでいる事もあり、かなりの頻度で飲んだくれます。ま、近頃は同じ話を堂々巡りで繰り返す、ついでというのが定番なんだけど。みんな酔っ払っているからま、いっか。楽しく飲めれば。この町に住んでいて楽しみにしてる事の一つです。

プチ同窓会

2009年08月22日 21:18

8月に入ってから、怒涛の3週間が過ぎました。

高校時代の友達と海キャンプにいたり、

地元青年部活動で某プロレス団体興行のビアガーデンの

焼き鳥焼いたり、帰郷一年目にして、夏祭り盆踊りの太鼓叩いたり、（気持ちよかったー！）

ハードな3週間でした。

その間に、地元に残ってる小・中学校時代の友達と

ほぼ同じメンバーで2回飲みました。

他のメンバーはだいたい高校も一緒なんだけど、

僕を含む数人は高校が違ったので、9年前の同窓会

以来の再開。でも、やっぱり同級生って、最高！

くだらない話とか、「あの頃誰々が付き合ってたよねー」

とか、話題は尽きることなく・・・

女の子は育児の話、男性陣は家庭で孤立してる愚痴

の話が多かったなあー。

でもほんと、楽しかった。

あの独特の団結力というか、たまりません。

面白いのはみんな集団の中での「ポジション」が変わらないこと。

みんなそれぞれのキャラで面白い。

最近かなりモヤモヤ感があったので、忙しかったけど

ストレス解消ーっ！！な日々でした。

こうやって、どんどん田舎暮らしに染まっていく・・・

ま、染まれるだけ、ありがたいんだけどさ。

本日のBGM；

『ANGEL'S SONG // ～白線流しオリジナル・サウンドトラック～』

黒猫と白い鼻

2009年09月27日 20:12

数日前、車を運転中に黒猫を轢いてしまいました。

飛び出してきたので、全く避ける余地も無くて。

30分もしないうち、その場に戻ったけど・・・猫の姿は無かった。

多分瀕死の重傷か、命を落としてるか・・・。

言い訳じゃないけど・・・

犬、狐、狸、鹿・・・

北海道の道端にいる動物の中でも猫が一番すばしっこい。

今回も事故回避は不可能だった。むしろ飛び込んできたの？

って思ったくらい。

でも・・・。お線香はあげました。

もう少ししたら、お花も供えて来ようと思います。

その翌日・・・ほんとに次の日・・・

町内（といっても山奥の）の温泉帰りに白いフクロウを見た。

フクロウ自体あんまり見たこと無かったんだけど、

道のど真ん中にいました。

友達と『幸福の使者だよ、きっと』なんて、盛り上がって。

ついてないんだか、ついてるんだか・・・。

今日札幌の帰り友達を送った後に隣村のパン屋さんに行ってきた。

そのパンさんはとっても辺鄙な場所にある。

ネット上の地図を調べても、「一本道に旗のみ」という、

よく言えば、「地図としては最も簡略」で

悪く言えば、「地図としては最も役に立たない」シロモノ。

「地図」を見て、初めて、笑ってしまいました。

ま、出来るだけわかり易く解説すると・・・

某大物演歌歌手の記念碑(銅像もあるけどそれはまた別の場所)

から 1km 位の所にある、わかりづらい場所、なんだけど・・・。
そのパン屋さんはとっても素敵で
ネットでも評判で 近隣、遠方のお客さんでにぎわっていて
洞爺湖サミットのファーストレディーの会食場所であった
レストランにもパンをおさめているブーランジェリー。
とっても小さなお店で、 前述の通り、場所はまったくの「へき地」
でも窯の都合で時間差で焼きあがっていくパンは
次々に売り切れになっていくらしい。
今日のお昼に買ってきたパンを食べたけど、
素直に美味しい。
そして決してこちら側の思い入れだけじゃなく、
丁寧に、少量生産で、作り手の熱意が食べて伝わってくる、
そんな価値のあるパンでした。
色んな思いや夢を持ちながら、日々少しずつでも前に進もうと
もがいている自分にとって、このパン屋さんは本当に
勇気づけられる存在で、憧れです。
もちろんしっかりした技術と確固たる思いで、今の場所で
商売をされてるんだらうけど。
そういうふうに、なりたいな。
泥臭さも、素敵さも、滲み出ている名店だと思います。
前へ。
少しでも前へ。
理屈じゃなくて、思い。
有意義な週末でした。

本日の BGM; 『坂道// 加藤いづみ』

越冬

2010年04月04日 19:23

15年ぶりに北海道に戻って実感した事。

それは、「冬が厳しい」って事。

菓子屋として12月～3月は忙しい時期なので、出かけることは皆無だったけど（出かけたくもない・・・）

本当に、南極越冬隊じゃないけれど、

耐え忍ぶ、って感じでした。

つい先週も吹雪で路面コンディション最悪だったし・・・

今日は驚く程快晴だったので、ドライブしてきました。

やっぱり雪化粧されたニセコ連峰と羊蹄山は最高に綺麗で、

個人的には、今流行でいえば、

最高のパワースポットだと思います。

雪原に立ち並ぶ白樺越しの木漏れ日に遭遇するだけで

涙があふれる、情緒不安定？なこの頃。

でもそんな景色は北海道の醍醐味だとももふ。

大好きなマイケル・ケンナの展示が札幌の美術館で開催されているみたいなので、行ってきます。

日常に埋没して視野が広がらない事はいけない事だと肝に命じて。

先日、湯の川温泉の名旅館に宿泊して、

その事を再認識させられました。

自分で切り開いていくしかない。

勿論、プラス思考で。

「Progress // kokua」

道端ジイサン

2010年06月20日 20:35

どうでもいい話だけど、

道端ジェシカはF1レーサーの

ジェンソン・バトンと破局したそうだ・・・。

F1と言えば、僕は昔、『F』という漫画にはまり、

本気で「レーサーになりたい！」と思った事があり、(←バカ)

レーシングカートをしていた事もあるんだけど、(←更にバカ)

勿論、短期間で諦めました(←救いようが、ややあるバカ)

そんな訳？でドライブは大好き、気分転換。

自分の車を運転するようになって、もう何年にもなるけど、

『本日、珍事件発生！！！！』

一人で車を運転中、道端で手を挙げるおじいさんが。

結構山道だったし、いかにも山菜取りの老人だったので

取り敢えず、停車。

こんなご時世なので、ある程度警戒しつつもジイサンの話を聞く。

以下、やりとり。

俺；「どうしたんですか？」

ジイサン；「警察に電話してくれねえか？山で迷ったんだ」

俺；「山にまだ人がいるんですか？」

ジイサン；「いや、自分だけだ」

俺；「じゃあ、とりあえず警察に・・・じいちゃん！

携帯、圏外だわ！！ 通じない！！！！」

この時点で、一応、人の心は持ち合わせている僕の選択肢は

一つな訳で・・・

俺；「じゃあ、とりあえず車に乗ってください」

それから見知らぬジイサンとの、二人きりのドライブ💕

通った事の無い道（山の中）だったので最寄の交番にでも送って行こうかと思ったけど、走っているうちに知ってる道に合流。ジイサンが車停めたであろう地点まで 20 分位だったので送っていく事にした。

道中、冷静（非情？）な僕はジイサンに色々尋ねた。

いつ山に入ったんですか？

山菜とりはいつも行くんですか？

いつもの場所だったんですか？

熊は出るんですか？

山で迷ったことはあるんですか？

ジイサンの話だと、今朝 5:30 から 2 時間の予定でタケノコ取りに山に入ったらしい。

いつもの場所から少しだけ離れたため、迷ってしまったそう。

それからやっとの思いで沢に出て川伝いに降りてきて、林道らしき所に出て、国道に出られたとの事。

僕がジイサンを拾ったのは午後の 3 時過ぎだったので、8 時間近く、山を彷徨ってたんだろう。

近辺は温泉が湧き出ている、硫黄の臭いがするため熊は出ないそう。

これまで山で迷ったことも無いそうだ。

ジイサン；「いやあー、助かったあー」

そう、何度も言っていたジイサン。

飲料水が尽きて、川の水で喉の渴きを癒していたそう。

ジイサンの車まで送り、リュックを降ろしてあげようと持った方がいいが、そのリュックの重い事！

多分、20kg 以上はある！！

でもジイサン曰く、

「それでも迷ったから、少しタケノコ捨てたんだ」

僕はほんとに、

「ああ、ジイサン、山から出てこられて良かった」

「夜にならなくて良かったですね」

って、思ったし、そうジイサンに言ったんだけど、

ジイサンは、

「こりゃ、一晚山で寝るのかなって、思った」

って言ってました。

なんていうか、そのジイサン、

憎めないし、

タフ。

ちゃんとヘルメットも持っていたし、

山菜取りの常連なんだろう。

多分、熊に遭遇しても立ち向かっていくような人。

なんか、助けてあげたとか、そういうんじゃないくて、

逆に、貴重ないい経験をさせて貰いました。

この近辺は毎年山菜取りで行方不明、

時には命を落としてしまう人、特に老人が多く、

消防やボランティア、ヘリコプターまで出動させておいても、

捜索、発見された本人は「俺は迷ってない、頼んでない」

なんていう輩もいます。

ジイサンは自分の車に着くやいなや、荷物も置いて

自分の車に向かっていった。

僕はある程度、予想していたのだけれど、

その行動に、ジイサンの人柄が伺えて、嬉しかった。

「あ、このジイサンに出会えて良かったな、と」

案の定、戻ってきたジイサンの手には「野口英世」
が何人か握られていた。

僕自身は急いでいる訳でも無い、道中でのハプニング
だったので、本当に好意はお断りした。

「じゃあ、せっかくなんで、

タケノコだけ少し貰っていいですか？」

ジイサンはその重たいリュックを開け、タケノコを
ビニール袋に分けてくれた。

リュックに、いっぱい、詰まってきました。

結局、収集つかないので謝礼も受け取りましたが・・・。

ジイサン、今度から、気いーつけーやー！

太くて美味しそうなタケノコは明日以降、うちの食卓に
並ぶでしょう。

田舎って、いいですよ。

田舎ならではのたくましさって、あると思う。

本日の BGM ; 『YOU AIN'T THE FIRST // GUNS N'ROSES』

暑い！ さなかに・・・

2010年08月22日 22:48

今年の北海道の夏、

全国的な猛暑の仲間入りで、暑いです。

帯広や旭川など、35℃超えの猛暑日が、何日かあるのはわかりますが、お盆を過ぎても、夜が寝苦しい日々が続いてるのは異常です。

例年だと、8/15のお祭のビアガーデンは、夜は寒くてビールなんか飲んでいられない気温だったはずなんだけど、昨年、今年はビール最高！の夜でした。

北海道の一般的な一軒屋、アパート、マンションにはエアコンが標準装備されていないので、なおさら、地味に暑いです。

それでも扇風機に当たってれば、なんとか涼むことが出来るので本州の暑さに比べれば、まだまし、と思いますが・・・

1ヶ月前、車で出かけて、熱中症になりますた。

エアコンのガスが抜けてしまう不具合が車にあって、お金が無いので

本州にいるときは、ガスだけ充填して貰ってました。

それでシーズンは乗り切れてたので。

で、北海道の夏なんて短いし、大した事ない、と思ってたので前年で油断し、今年もそれで乗り切ろうと・・・

でも、今年はだめでした。

んー。37歳で（多分）熱中症。

気持ち悪さと、脱力感で回復に一日を要しました。

・・・しかし！

暑い時期は仕事が暇なんでございます。

その間に、商品開発！

くそ暑いさなか、

焼き菓子の試作を、しています。

心が折れる、というか、

試食がしたくねえー！！

暑い時期に焼き菓子なんか、食いたくねえー！！

などと、思いつつ。

そこは、仕事。

おえっ！

と、なりながら、

もさもさ、の生地を試食する今日この頃。

フィナンシェが、納得できる仕上がりにならないー！

ブラウニーも！

ガレット・ブルトンヌにはやっぱり、サワークリーム入れたほうが
アクセントあるかなあー？

マドレーヌは美味しいぞ！

フロランタンは？ダックワーズは？

ケーキは？サブレは？カヌレは？メレンゲ菓子は？

あーーーーー！！

暑い中、舌も、味覚判断が鈍ってるーーーー！

でも、10/1にプチ・リニューアル・オープンを企んでいます。

あと、1ヶ月ちょっと。

無理だ。無理かな？

いや、決めたんだ。

やるんだ！！！！

プチ・リニューアル・オープンしたところで・・・

全くケーキが売れない最近の現状で、正直モチベーションもなし。

しかし、

『言い訳はしません』

どんな環境、状況でも。

やれることはあるはず。

「繁盛」や「儲け」は、「目的」ではなく、「結果」。

そこまでにいたるプロセスで何を思うか、何が出来るか。

今のところ、商売を手探りでやらせて頂いてる環境に、感謝。

僕は「繁盛」は結果としてそうなれたら、ラッキーだけど、

全ては、

・・・

くさいので、言えません。

でも、

「生きる糧になるものは、心の糧にならない」

今はその言葉に惹かれて・・・やっています。

本日の BGM;

「The Times They Are A-Changin` //Tracy Chapman

～From BOB DYLAN The 30th Anniversary Concert Celebration

木漏れ日

2011年02月04日 21:33

気晴らしにドライブに出かける。

もう、10数年来の習慣。

心の微調整。

音楽と風景がハマると、感情が揺れる。

さらにその風景に『木漏れ日』が含まれると、

それだけで『涙』がポロリ。

そんな些細な事で、心が癒される。

少しだけ、楽な気持ちになる。

ちょっとだけ、前へ進みたくなる。

『些細な事』こそ、心に大きく響く。

『些細な事』はつまらない事ではなく、

『とっても大切な事』。

些細な事でいざこざが起きるのも、その裏には

何十もの不平不満があるはず。

自覚したいものです。

自分が未熟者であるということを。

本日のBGM ; 『 ON BENDED KNEE // BOYZ IIMEN 』

長友佑都と某国の国技

2011年02月04日 22:54

数々の不祥事を起こしても、尚、旧態依然体質の相撲協会。

『八百長』は恐らく昔からの慣習と思う。

あ、『八百長』じゃなく『無気力相撲』か。

誤解を恐れずに言えば、この国においてプロレスと大相撲は

同じ括り、ショー的な意味合いの強いスポーツだと思う。

個人的な感想だが、TVに写る最前列の、客の試合中（取り組み中）の笑顔が、なんとも両者に共通する。

"それ"はプロ野球中継にも、ましてやガチンコ勝負であるサッカー中継では絶対に見られない一種独特の『含み笑い』に僕には写る。ここ数年、特に思うんだけど、大相撲は毎場所話題に事欠かない。

『誰々の連勝記録』やら、毎場所毎場所、相撲ファンでない僕でも『えっ！？』そんなに話題が毎場所続くものなの？？？って思うくらい。

誰かシナリオライターがいると思われても不思議ではないと思う。だから僕の中では、大相撲は日本国が世界に発信する、ショー・スポーツ

若・貴の優勝決定戦も限りなく、仕組まれたものに違いない。

（あくまで個人的な見解です・・・）

。

長友佑都という人は僕にとって、尊敬、羨望の的でしかありません。鋼のような肉体。クレバーな頭脳。それらに裏打ちされたハングリ一な心。

ワールドカップで彼を知りましたが、とても心揺さぶられました。

今回のアジアカップでも長友と香川は 日本サッカーに喜びと期

待を 抱かせてくれたと思います。

香川のいない試合はいままで通りの『安全な所でパスを回し合う(そこからチャンスを伺うにしてはあまりにも怠惰なパス回しに見える)』場面が多く感じられたけど、香川がボールを持ったときの安心感と、それ以降の展開

のワクワク感といたら、ない。過去にない。

ブンデスリーガでの活躍はフェイクじゃない。

なんて偉そうに語ったけど、

長友インテル移籍と相撲界の八百長事件。

今日のスポーツカテゴリーに共に載っていたので、思うところがあり・・・。

僕は長友のような人にスコシデモチカズケタラト、スナオニオモイマシタ。

本日の BGM ;

『CRAZY TRAIN // OZZY OSBOURNE (from Live&Loud) 』

孤独

2011年02月20日 20:58

ずうーっつと、『それ』と折り合いをつけようとしてきた事。

『それ』を持って余して、多くの空虚な時間を潰してきたこと。

なんとか、『それ』をバネに前進しようとしてきた事。

でも、

『それ』を受け入れようと、どこかで無理してきた事。

どれだけの時間を費やしても、何も埋まりやしない。

それが、実感であり、事実。

頭で考えても、無意味。

卑屈になってる訳でも、自暴自棄になってる訳でもないけど、

だからこそ、ややこしや。

『一人でいても、寂しくない人間たれ。』 by 中村天風

日々そう肝に命じて、積み重ねてるけど、

なかなか、そうはいきませんぜ！！

師匠！！

本日の BGM; 『LOVE RESCUE ME // U2 RATTLE AND HUM』

2011.3.11

2011年04月09日 22:16

たまたま、リアルタイムでTVを見ていた地震直後の映像。

NHKの、リアルタイムの宮城県名取地区を飲み込む津波の映像はにわかにこの世のものとは、信じられませんでした・・・。

映画でも観ているような・・・

去年の10月に、親友の結婚式で仙台に行ってきました。

宮城地元の友達がほとんどだったので、宮城・三陸沖地震について、「そろそろじゃない？」って会話をみんなでした。

地元の人にとってはある程度、覚悟はあったのですが・・・、まさかここまでの規模とは・・・というのが本音だと思います。

僕も宮城県多賀城市に4年間住んでました。

仙台市内はじめ、県内の至る所、山あり、森あり、海あり、ほんとに大好きな場所でした。

宮城での大切に素敵な思い出は、数え切れないほど、沢山あります。住んでいた多賀城市内や国道45号線も軒並み、大半が津波の被害を受けたようで・・・ちょっと、感覚的に信じられません・・・。

15～16年前、大学生だった僕は多賀城のアパートで徹夜で定期試験の

勉強をしてました。

明け方、そこに飛び込んできたニュースが阪神・淡路大震災のNHK速報でした。

必死で一夜漬けの終盤を迎えつつテレビを食い入るように見ていた記憶があります。

試験に行く直前の情報では、どこかの駅で4名が亡くなったという最新情報をテレビが伝えていました。

午後に帰宅して、徐々にとんでもない災害だという概要がわかりま

した。

今回の東北関東大震災も、たまたま発生直後に TV で観ていました。

どちらの災害も直接、被害を受けた訳ではありません。

被災者の方々の心中など、察するべくもありません。

けど、でも・・・。

何を言っても、何にもならないと思います。

だから、

何も言わず、何かしたいと思います。

泣く事は簡単だけど、

泣かない自分でいたい。

少しでも出来ること、やります。

大槌町へ行ってきました

2011年05月29日 22:07

先週末、

大槌町へ炊き出しに行っていました。

我が町の7団体（商工会や建設協会、役場など）から成る
26名の炊き出し隊（老若男女）が組織され、僕も志願して
商工会青年部として参加しました。

スケジュールは、

5/20(金)の夕方出発して、⇒函館⇒青函フェリー⇒青森⇒花巻⇒遠野⇒
大槌

という経由で移動。

5/21(土)朝、大槌着で、(出発から14時間くらい)

<昼食> お汁粉&浅漬け、<夕食> 炊きたて白米とジンギスカン&た
くあん の炊き出しを実施。

夜は遠野の道場に宿泊で、

5/22(日)の夜に帰町、

というスケジュール。

炊き出しの他に、町民に呼びかけて集まった、米やティッシュ、ト
イレットペーパー、食器、雨具などの支援物資も積んでいきました。
ユニック、2tハコ車、マイクロバス、の3台で行きましたが、どの
車も満杯、満員状態。

遠野から釜石駅前までは、どこにでもある、大震災があったとは思
えない、ごく一般的な風景・景色でした。

でも釜石駅から一本逸れた道に入って間もなく、

津波が押し寄せ、一階部分が廃墟と化した建物だけの
商店街の光景が目に飛び込んできました。

心の準備はしていたけど、被災地の現実を突きつけられ、

あの衝撃は、正直言葉では言い表せません。

釜石を抜け、仙人峠という山間部を通り、大槌町へ。

途中、自衛隊やパトカー、機動隊バス等の警察車両を何台も見ました。

道沿いにある学校の校庭や広場には、自衛隊や警察車両がたくさん駐まっていた。

大槌町の入り口と思われる道路沿いには、比較的新しい鉄筋コンクリート

の公営住宅みたいなのが建っていて、遠目では被害が無いように見えましたが、建物の二階まで津波がきた形跡がはっきりとわかりそこももちろん廃墟でした。

そこから数分、平野部を走り、左折して急な坂を上がって行くと、炊き出し場所である中央公民館にたどり着きます。

亡くなった町長が町民の反対を押し切って、その場所に公民館を建てたそうです。

高台と言うよりは、ちょっとした山の中腹といった場所です。

そこから2時の方向に湾があり、ひょっこりひょうたん島のモデルと言われる島（と言うには小さい・・・）も湾内の真ん中に浮かんでいます。

距離的には2km以上はあると思うけど、高台の斜面の1/3くらいまで津波が

きていたんだろう。その位置にある墓石は無くなっていたので・・・。

昼食の炊き出しのお汁粉&浅漬は300食くらい、

夕食の白米&ジンギスカン&たくあんは400食くらい。

中央公民館の避難者数が300人くらいで、他から集まってくる

避難者も考慮しての予定数各600食分だったんだけど、少し多め

でした。でも残りはすぐ近くの避難所に配給してきました。

お汁粉とジンギスカンが炊き出しメニューに決まった経緯は、随分先に

同じ場所に炊き出しに行った近隣の島牧村からの、

「次は、甘いものと肉が食べたい」

という情報があったから。

ジンギスカンはクセがあるから、受け入れられ難いのでは？

など、いくつもの議論が事前に飛び交いました。

でも、結果的に凄く喜んでいただけました。

たかだか一日だけ、数百人分、昼食と夕食の炊き出し。

そして少ないけれど、支援物資。

たったこれだけの支援をする為に、何度も会議をし、実際に試作をし、町民も自ら足を運んで寄付に来てくれた。

町民のなかでも、冷ややかな目で見ている人もいたみたい。

実際、そういう声も小さな町なので聞こえてきた。

でも、実際に被災地に行ったメンバー26人は分かっているはず。

規模は小さくても、出来るだけの事は、みんなヘトヘトになってやった。

20代～70代（老若男女）まで、一致団結して、出来る得るだけのこと

をしました。

被災地に住んでいる方や、避難所で生活している方の立場になって考えると、僕達がおこなった炊き出しというのは、日々先の見えない生活をされている方々にとって、どんな意味があったんだろう？ って、自問自答してしまいます。

なんだかあまりにも無力な気がして・・・

でも、たった一食だけでも、少しでも美味しいと思って貰えたなら・・・

僕らの無償の心意気を少しでも感じて貰えたなら・・・

被災地に行って、色んなことを感じたし、思ったし、考えた。

3月11日に起こった震災以後、

ずっとテレビやネットで見ても、聞いてきた情報と、

5月21日に被災地に出向き、

この目で見て、聞いた情報。

映像的にとらえるなら、壊滅的な大槌町の津波の被害は、

TVの映像でも、実際に目で見た映像も、凄惨な状況に変わりはないです。

実際の現地では、

無機質な瓦礫撤去作業の重機が動く音と、礫と堆肥が混ざったような独特の匂いが立ち込め、そのほとんどがサラ地という光景が広がってました。

悲惨とか信じられないとかあらゆる言葉が陳腐に感じられました。

既に自衛隊を始め、瓦礫の撤去は徐々に進んでいます。

おこがましい言い方だけど、

被災者側も支援する側も、

少しでも出来る事を、それぞれがやっていけたら、

決して100%はあり得ないかもしれないけれど、

復興のスピードはいくらかは加速するかも、

って思いました。

僕の住む町は人口約5500人の、ど田舎の町。

今回色んな団体から組織された炊き出し隊。

各組織ごとは、経験もあってそこそこ活動もしてきたと思う。

けど寄せ集まった人たちで、スケジュール通りテキパキ炊き出し出来たのは、小さな町ならではの「つながり」が大きいと実感しました。

被災者の方にも、夕食を配膳してる時に、

「すごい団結力ですね」って言葉をいただきました。

素直に嬉しかったし、炊き出しに参加して、もう一つ大きな意義を実感出来ました。

今回炊き出しに行って思った事。

どんなに凄惨な現場か、困難を極める非難生活を、伝え、支援の協力の輪を少しでも広めていく事が、実際に被災地にいった者としての役目だと思いました。今回と同じ規模でまた行くのは困難かもしれないけど（資金の面で・・・）

今回の経験を踏まえ、50～100人規模の避難所なら少人数でコンパクトに炊き出しに行けるって、考えてました。

だから次は自ら率先して、炊き出しに行く予定です。

農家の方々からは、「次も行くんなら、米、野菜はまた提供するぞ！」って声もいただけてます。本当に頭が下がる思いです。

正直、炊き出しにまた行っても、無力感は感じると思う。

でも湧き上がる感情は、「また行く！」

「自己満足なんじゃないの??」って自分自身でも思う。

でも、賛同してくれる仲間がいるので、また行こうと思います。

そういう気持ちになれるのは、

「わずらわしい」と心のどこかで思っていた、小さな町での生活が教えてくれた事だと思います。

きっとどこの町にも、僕の町にも、大槌町にもあった「つながり」。

「お互いさま」

「無償のやりとり」

「何キロにも及ぶご近所付き合い」

という文化。

そういう「つながり」が今回の支援の根底にあると思う。

その事を、僕は誇りに思う。

茶番劇

2011年07月06日 00:58

国会議員というのは、(一部の方ですが・・・)

頭が良すぎて、凡人の感覚では理解できないのか・・・

失言(というか、「非常識発言」)がびっくりするくらい、ある。

一般的に、社会人・企業人としたら、この国の国会議員の発言は、ゆるすぎる。

ぬるい。

坊ちゃん育ちで、世間知らず、とあえて言いたい。

百歩譲って、国会議員にまで成り上がる人達だから、一般の人とは、感覚や、ものの考え方は同じでは無いだろう。

だけど・・・

日曜 7:30 からの『がっちりマンデー』にでてくる社長や、日本の約 90%以上を占める中小企業の社長さんたちは、ものごとの分別を『彼ら』より断然わきまえているに違いない。

何より、『人の役にたつ』事をありきで、企業を運営している。

一方、

復興相を三日で降りるような、アンポンタンがこの国にはいる。

そのアンポンタンが与野党を批判している。

この茶番劇には、耳を疑いました。

民間企業として考えるなら、その理念も、発言も(対策にまでには至っていない)許されない、失態だと思う。

人の上に「たつ」という事は、

それなりに人格が無ければいけないと思う。

ここは断固として言いたい。

一流大学を出ても、勉強ができて、

素頭の良さとか、社会人として「出来る人」というのは別物だ。

自分はさておき、

これは経験則として、断言できる。

あまりにもお粗末なこの国の、震災(原発対策含む)対応を見ていて、自分の中でルール違反の批判をしてしまいました。

批判するのは簡単。

だから、極力、日常からしないよう心がけている。

でも、

今回の辞任劇は

低レベル。

国会中継と同じく、

小学生には、見せられない代物だと、思う。

覚悟

2012年03月12日 01:00

自分にとって「覚悟」という言葉を意識して生きていくようになったのは、漫画家の弘兼憲史さんの著書『覚悟の法則』という本でした。

社会人になって「Book・off」かなんかで買った本だったと思います。本には、男としての覚悟、社会人としての覚悟みたいなのが書かれており、「覚悟を持って生きる事」、「信念を持って勝負に出る時がある」といった内容が書かれています。

その本を読んで以来、自分なりに少しは「覚悟とはなんぞや？」と、自問自答しながら生きてきたつもりでいました・・・。
・・・東日本大震災から一年。

数々のTV番組を見ていて、消防団や警察、公務員の方、家族達は自分の役割や責任感に囚われ自らの命を落とした方が多数いたようです。恐らく各々、結果的にここまで甚大な津波被害が来るとは、非難勧告や救助や避難誘導に当たった時点では思っていなかったのではないのでしょうか？

軽はずみな事は言えませんが、使命感や家族の安否を気遣うあまり、一度高台等に非難した方が再び街へ降りて行き、命を落とされた、そういう方もいるようです・・・。

津波が来るであろう場に留まって、市民の安全を最後まで確保しようとした方々、自分の家族を守る・救うべく危険に身を晒した方々、更にはその両方の間でご尽力された方。

日頃から職業や立場から、ある程度の「覚悟」はあったものと推し量りますが、それにしても・・・

自分にはそれだけの覚悟がいざという時にあるだろうか？？

そう思うと、自らの命を失う怖さを思うだけで恐ろしく、
到底他の人を助けるという心境にまで至らないだろう、
というのが本音です。

百歩譲って、家族は助けに行くとして、家族以外だったら
どうだろう？って・・・。

報道を見る限り、先に述べた消防団や警察、公務員の方、家族達
は「覚悟」を心のどこかで決めていたんだと思います。

それは職業柄、常日頃からある程度は持っていたものはあるで
しょうし、恐らく大地震後、大津波が来るかもとそういう方々
には更なる覚悟があったものと思います。

そんな中で自らの使命を全うされた方々には言葉もありません。
限りある命を、覚悟をもって日々生きているんですか？って
問われたら、

「いいえ」っていう答えです。一所懸命生きてません。

適度にだらけて、時に一所懸命で。

それでいいんだ、って自分に言い聞かせて・・・。

甘い自分・・・

本日の BGM は・・・

被災地を訪れた時、自然と頭に鳴り響いた曲・・・

心に響く曲です・・・

「かなしみの数を言い尽くすより、

同じくちびるで そっとうたおう」

⇒「うたうことは難しいことじゃない」

本日の BGM;

「いつも何度でも// 木村弓」

「歌うたいのバラッド// Bank Band」

食心会

蘭越町商工会内の組織に食心会というのがある。町内の飲食店と酒屋さんがタッグを組んでパーティーや会合の料理一式を提供するという活動。現在は8つの飲食店と2つの酒屋さんで切り盛りしている。

もともと町内の飲食店の宴会の収容人数のキャパが50人を超えると対応出来ず、昆布地区にある町営の温泉宿泊施設「幽泉閣」などがあるものの、町の中心部の商店街での大人数での宴会が出来なかったため、それに加えて商店街の活性化、地元でお金を使っていたらこう、という趣旨のもと発足したようです。平成26年の今年で10年目を迎えます。予算は¥50000で、料理はデザートを含め7〜9品くらい、時間は大体1時間半から2時間で飲み物も大体のものが用意されます。

現在は年間10件くらいのオーダーがあり、人数は50人くらいから多い時で200人というパーティーもありました。僕が食心会のメンバーに入れていただいたのは実家に戻ってきた5年前から。それまでは両親がデザートを担当していましたが、5年前から僕が担当させていただいています。予算が限られているので豪華絢爛、華やかとはいかないけれど、出来るだけコストパフォーマンスの高いものを提供する事を心がけている。

自分にとっても普段店頭には出さないようなガトーも作るので、大変な仕事だけどチャレジ、スキルアップの機会と思って仕事をさせて頂いています。

商工会青年部での活動

田舎で暮していると仕事に精進して自分の商売だけに力を注ぐ、という訳にはいかない。地域の様々な活動、行事にも参加しなければいけないし、それに多くの時間も割かなくてはいけなくなる。

実家に帰ってきて間もなく、商工会青年部への勧誘がありました。

商工会とは、全国の町村にある商工業の中小企業が会員となり、地元企業である会員に対し、経営改善に関する相談や指導を行う機関。またお互いの事業の発展や地域の発展、振興のために総合的な活動を行う団体です。人口の多い町や市では「商工会議所」として運営されています。

商工会青年部は商工会(親会)の下部組織で、加入資格は主に「40歳以下の後継者や事業主」です。

初めは正直言つて「体よくお断りしよう」と思っていました。が、当時の部長さんと事務局の方が家に来られ、断れる雰囲気ではなく、入部する事となりました。

入部してからの2年間は会議にも行事にも必ず参加しました。(唯一4月上旬に蘭越町の山で行われる「ニセコ連峰歩くスキー大会」だけは参加出来ませんでした。・)入部した時には35歳を超えていて正部員として活動できる期間も短いし、実質活動している部員も少なく、また、入部したからには「一生懸命・全力で取り組む」と思っていたので、本職を何とかやりくりして活動していました。

青年部の活動は地元施設の祭りでお祭りや焼き鳥を焼いたり、商店街の祭りや出店をだしたり、地元独身男性を対象にカップリングパーティーなども行っていた。活動を通して地域とのかかわりや、自分に求められる役割や責任を学んでいく場でもある。

入部して初めてのイベントが青年部が企画、招致した地方プロレス団体の屋外興行。青年部はビールや焼き鳥を販売する事に。加減を知らない僕は焼き鳥を焼きながら、ビールを飲みすぎ、ベロベロになって途中退場と相成りました。(涙)

3年目には「商工会青年部長」の大役を前部長から仰せつかりました。単に年齢的に僕以外いない、という事情でした。これまでの人生で「長」がつく役職はやった事がなく、部長になったときに「ま、今までの規定路線で無難に任期の2年を終えられればいいか」そう考えてました。

部長になる前の、入部から2年間の活動を通して、自分なりに良い点、悪い点は感じていたので、悪い点と思った点は改善し、良い点はより良くなるようにしていこうと思っていました。任期1年目は無難？に乗り切りました。

入部して4年目、部長2年目に「らんこ市」というイベントを行う事になった。「らんこ市」は商工会青年部の先輩達が15年前まで行っていたもので、出店や団体競争、催し物などかなりの賑わいを見せたイベントだった。規模が大きくなりすぎてやめる事になってしまったが10年以上続いたイベン

トのようだった。「らんこ市」を復活させるに至ったきっかけは、G・W明けの部会後に青年部の部員で飲んでいた時に「何かイベントをやりたい」という声があり、ちょうどその頃「蘭越4Hクラブ」という若手の農業従事者の方からも商工会青年部と組んで、町を盛り上げるような事をやりたいというお話をいただいていたので、色んなタイミングが重なり、「らんこ市」を開催する事にした。

5月の上旬に話が出て、7月下旬の開催日まで2ヶ月しかなく、部内で役割分担を決め、準備をした。かかわった皆様の頑張りもあり、なんとか開催までこぎつけた。事前に青年部OBの方にも「らんこ市」復活の挨拶に行ったときは喜んでいただいた。「らんこ市」当日は天候にも恵まれ、予想以上に沢山の人が来てくれた。町内の飲食店や商工会女性部にも協力いただきバリエーション豊かな店が出店し、「蘭越4Hクラブ」は「軽トラ市」で地元でとれたメロンや農作物を販売してくれた。催し物は地元の幼稚園や保育所、地区の団体の太鼓演奏や中学生による吹奏楽、ダンスチームによる踊りも披露された。メインイベントは「軽トラ綱引き」。3人で1台の軽トラにつけられた綱を手繰り寄せて軽トラを引っ張るといふ競技。2チーム同時にそれぞれ軽トラを引っ張るので、見ている側も楽しめる競技。予想以上に盛り上がり、最後は餅まきをして終了。おかげさまで盛況のうちにイベントは終了した。町からの助成金もただけて、今年も3回目の「らんこ市」が開催される予定です。

「らんこ市」を復活させるにあたり正直、精神的にかなりしんどかった。ほぼ毎晩YOUTUBEで

ミスチルのPVを観ながら、ビールを飲んだくれて自問自答の日々だった。自分の至らなさから先輩からお叱りを受ける事もあったし、みんなをまとめきれないという思いもあった。最終的には、これまで活動してきた先輩方の経験と、若い人の活発な意見がうまく融合されて「らんこ市」が開催出来たと思っている。

「楽しくなければ意味が無い」その事を痛感した。

地元のお祭り

蘭越町には毎年9月の7日、8日、9日(日にち固定)に八幡神社を奉って行われる「秋祭り」がある。僕が小学生の頃は今より人口も沢山いたから、長さ300mくらいの商店街の道の両脇に露天商がびっしり並んでいた。夜宮の夜はすれ違うのも困難な程、人出も多かった。ちよつとした居酒屋みたくなっている「おでんや」や小動物やペットを売る店、定番のたこ焼き、おもちゃ屋さん、瀬戸物屋さんや、わたあめ屋さん、コイ釣りなんてのもあった。ヨーヨー釣りの風船の中に千円札や硬貨が入っているお店(あ、違法かな?)に燃えたり。実家のお店は商店街のほぼ中心にあつて当時は「ソフトクリーム」を売っていたから沢山お客さんが来てくれた。当時小学生だった僕は大の仲良しだった友達と露天商が店じまいする夜10時くらいまで、ずっと遊んであるいていた。忘れられない思い出があつて、小学校高学年の時、祭りの間3日間ずっと、「かたぬき」の露天に入り浸っていた。かたぬきも勿論面白かったのだが、露天のおっちゃんと話するのがそれ以上に楽しかった。3日目の最終日、夜10時近く。仕事を終えた母親と2人で露店通りを歩いた。例の「かたぬき」のおっちゃんは店をまだ開けていて、閉店ぎりぎりにかたぬきをした。子供心にずっとおっちゃんと話していたという思いがあつたんだろう。

悲しい結末は翌年に待ち構えていて、翌年「おっちゃん」は僕の事を、覚えていなかった。

「祭りのあと」じゃないけれど、子供の頃は秋祭りが終わってしまうのが、どうしようもなく寂しく

て、涙が出そうになるほど悲しかった。「あー、あと1年後じゃないとこの賑わいに出会えないんだ」
今でもあの切ない気持ちは、はっきりと覚えている。

蘭越町の秋祭りには、商工会が中心となった通称「おどりやま」が巡行される。

「おどりやま」は町内の幼児から小学6年生までの女の子が煌びやかな着物と飾りに身を包み、日本舞踊で町内各地で踊りを披露し、練り歩くというもの。それに伴ってトラックに山車を乗せ、成人の男連中が笛太鼓で踊り子を盛り立てるといふ昔からの蘭越伝統の文化。僕が小学校の頃は同じように「農協」でも踊り子と山車を出していたが、今では商工会の山車のみ。踊り子の人数も年々減少する一方。

祭り期間中は最後に商店街を練り歩き、祭りを盛り上げる。

今後様々な存続に関する問題や課題が出てくる事と思うが、絶対に絶やしてはいけない素晴らしい「文化」だと思います。

僕も光栄な事に実家へ戻った年に「笛太鼓」のメンバーに誘っていただきました。秋祭りの前に同じメンバーで夏のお盆の町内盆踊り大会で笛太鼓を奏でる。そこを入門に、秋祭りへ向け人里離れた部落の会館で2週間に渡り練習が行われる。もちろん踊り子さんも約1ヶ月に渡る稽古をみっちり仕込まれる。

そうやって今も伝統的な文化は受け継がれている。

かなやのかずおさん

蘭越町内に住む者なら恐らく知らない人はいなかったであろう有名人。過去形なのは、1年半前の夏に突然逝ってしまったから……。町内随一のエンターテイナー、町内のみならず後志管内でも活躍してきたひと。勿論芸能人でもなく（へ々な芸能人よりよっぽど面白いけど……）地元スーパーマーケットの御曹司。近年ではコンビニ経営も手掛けるかたわら、昔から変わらぬ蘭越を誰よりも愛し、蘭越を盛り上げ、蘭越の人を楽しませようとしていた人。そしてそれを実行してきた人。僕の父親の後輩であったかずおさん。昔はよく家にも飲みに来ていたし、僕が実家へ戻って来てからも、何度か家で酒を酌み交わした。なにせ家の裏の鍵が開いていけば、そろっと侵入し、更に勝手に冷蔵庫を開け、ワインを飲んで、そんな事もあったけど、全然憎めないひと、それがかずおさん。僕も実家の蘭越に戻ってきて、かずおさんの後輩として、どういう思いで蘭越という町と対峙してきたのか、原動力はなんなのか、後身に伝えたい事はなんなのか、商店街の、そして蘭越に住む先輩として、これから酒を酌み交わしながら沢山本音を聞きたいと思っただけで、叶わぬ思いとなりました。亡くなった日の夜にお参りしたときも不謹慎ながら、家族ぐるみでお芝居でもしてるんじゃないの？ 周りを驚かせようと思っただけで、つて本気で思うほど、信じられなかった。かずおさんの口癖であった「まっさかさあー」そう突っ込みたくなる出来事でした。改めてご冥福をお祈りいたします。天国でも飲みすぎないように！

面舵「いっばい」

会社勤めだった頃は「製造業」の仕事だったが、「お客様のためにもものを作っている」という感覚が薄かった、というか実感しにくかった。作っていた製品が半導体で、「目に見えないマイクロやマクロの世界」の製品の製造に携わっていたので余計にそう思った、というのもあるのだけれど。

30歳が目前に迫った時、日頃の「空虚感」が募っていたこともあり、「俺の人生、このままでいいのかな？」と考えるようになっていた。

僕かパティシエになりたいと思ったきっかけは、小学校の頃からずっと音楽が大好きで、悲しい時も苦しい時も楽しい時もずっと自分の心に寄り添ってくれるものが音楽だった。大好きなブライアン・アダムスやエリック・クラプトンの曲を聞く度に、人に感動を与えられるものを生み出す才能って素晴らしい、と、いつも妙に感動していた。残念ながら自分には音楽の才能はこれっぽっちもなさそうだが、でも人に「ささやかな感動」をして貰えるようなものを作りたい。そう思ったなら「パティシエになりたい」と気付いたら思っていた。実家がお菓子屋だからという事は、多分関係なかった。僕が言うのもなんだけど、おしゃれでかわいらしくて食べても勿論、見ているだけでも「ささやかな幸せ」な気持ちにしてくれるもの。そこに魅力を感じた。

そんなこんなで、30歳を機に人生の「方向転換」を決意した。

パティシエという職業

まだまだ、まだ、技術も経験も未熟な身で偉そうな事はいえないが、華やかなお菓子を作る仕事は地味で地道にコツコツと行う作業がほとんど。料理と違って、形のないものから製品を作り上げるので必然的に働く時間も長くなる。でも製菓学校の先生も何度も言っていた事だが、才能はいらない。勿論才能のある方は沢山いらっしやるが、努力や時間を費やしただけ自分の力になる。

お菓子を作っていてとても大事だと思った事は、「ま、いっか」は許されないという事。

例えば、同じ生地を同じように焼いても膨らみが足りなかったりして失敗する事がある。原因を探っていくと、生地を作ってから焼き上げるまでのどこかの工程に「ま、いっか」が存在する。

お菓子づくりは非常に科学的なもので、そういう意味では理系の道を歩んできた事は、図らずとも多少なりとは役にたっている。

「職人」や経験豊富な人は科学的な事を「感覚」で捉えてしまう。経験の浅い人が自分の「感覚」に頼ってしまうと失敗が起こりやすくなる。物理的に絞りが上手いとかの技術の他に、科学的な事を「感覚」でわかってしまう事をあわせて「職人技」というのだろう。

また、安全で安心なものを作るという「食品衛生」の観点からも勿論「ま、いっか」は許されない。

「当たり前」の事を「当たり前」にきちんと、高い意識で出来る事が大切だと思っています。

町おこし

ええやん。今いる地域の人たちで楽しく暮らせたなら、それで、それだけでええやん。

僕はそう思っている。

各市町村は民間企業と同じで行政や財政を各々独立で成り立たせようと、公務員の方は日々ご尽力されていると思います。そんなことはわかっている。でも「町おこし」しただって、人口を増やそうとした所でたかが知れている思う。日本全体の人口は既に減少し始めているのだから、今後全国の市町村が淘汰されていくのは当然のことだと思う。遠くない未来に立ち行かなくなる時が確実に来ると思う。だから個人的には、「ええやん。今いる地域の人たちで楽しく暮らせたならそれで、それだけでええやん。」

ネガティブな考えだろうか？

本音

実家の蘭越に15年ぶりにUターンして5年が経つ。この町で暮らして色々な思いを抱くようになった。頭でっかちな考えではなく、自分なりに地域活動へ参加し、時間を割いてきた上での感想。

商店街が束になってかかっても、消費者を繋ぎとめる事は難しい、という現実。

商工会や商店街が行うイベント。集客もそこそこあり、その時はお客さまに喜んでいただけただけなのだが、「その時」止まり、という感否めない。近隣都市への「購買力の流失」は必然の事と思うし、自分に置き換えてみても、町内で揃わないものや、多くの中から選んで買いたい時などは町外で買う。勿論僕も蘭越町内で商売をさせていただき、他の商店とも繋がりがあるのは分っていても、100%町内で買物満了、ということはありません。

僕がバイブルとしている「商いのルール」という本の中に「街のことは後でいい！」というページがある。「店が先か、商店街が先か？」ということであれば、迷わず「店が先」と答えます。とある。さらに続き、「理由は、**商店街の活性化は、あなたの店が強くないと絶対に出来ないからです。**」

とある。その通りだと思う。地元に戻ってから自問自答を常に行っている。ジレンマも感じている。だけど日常に慣習に流されて、やり過ごす。自分ひとりが何とかしようと思っても・・・。

言い訳をするだけで、何も出来ていない自分。

本のタイトル

恐れ多くも、天下のロックの殿堂、ボブ・ディラン(4月に札幌のライブハウスで公演するらしい。凄い時代だ)の名曲中の名曲「Like A Rolling stone」を「もじらせて」いただきタイトルにした。熱狂的なボブ・ディランのファンでもないし、崇拜している訳でもない。でも素晴らしい楽曲は沢山あるし、「ロック・ミュージック」が生まれてせいぜい70年、その基礎を築いてきた偉大なミュージシャンだということは沢山のミュージシャンがカバーしている事からもわかる。ロック好きにとつては神みたいな存在。洋菓子の世界で言ったらきつとアントナン・カレームのような人だ、きつと。(個人的な意見です)

ボブ・ディランの「Like A Rolling stone」の詩の解釈は様々あるようだが、英語も話せない僕は勝手に、転がる石のように人生なんてどうなるか、どこへ向かうかわからない。でもなんとかなるさ、生きていけば。そう勝手に解釈していた。曲のメロディーからは、なにかぐいぐいとは来ないのだけれど、さり気なく前向きで少しだけ希望に満ちた気分にさせてくれる。僕にとってはそういう曲。とてつもなくさり気なく、奥深い曲。

本のタイトルを「Like A Rolling cake」にしたのもたいして意味は無いのだが、これまでの自分

のちっぽけな人生を振り返ると、今の自分を良く表してくれていると、勝手に感じたから。

「Like A Rolling stone」のサビの部分、「How does it feel? (どんな気持ちだい?)」

そう聞かれたのなら、「なんとかやっているさ、周りのみんなのおかげだね。」「生かされている限り、生きる義務があると思っている」

今はそう答えると思う。

折り返し地点

数日前、町内のお寺に同級生何人かで厄払いに行ってきた。今年は「本厄」。

お参りを終え、お寺の住職さんからお話をいただいた。要約すると、42歳は人生の折り返し地点。

これまでは「誰かのおかげ」で生きてきた。今の自分に「慢心」する事なく、今度は、「誰かのために」何かをして生きていく時だ、そういう話をいただいた。これまでの人生経験から、おおよその事には対処できるはずでそれを今後の自分にどう活かしていくか、それが大切です、とも。

なんだか言葉のひとつひとつが突き刺さった。でも「突き刺さった」という事は、自分に自覚があるからだろう。

これまでの人生を振り返ると「ゲップ」が出そう。ビールをしこたま飲んできたから、なんてつまらない冗談ではなくて、この先も同じような事が続くのかと思うと、既にお腹一杯。(なんてバチあたりな！)

マラソンでいう「折り返し」を過ぎたということ、かなり疲労はしているという事か。でも「生かされている」以上、生きなければ。

取り敢えず、ビールとマグロとホルモンと音楽がこの世にある限り、僕は生きて行ける。たぶん。

あとがき

「本出版で町おこし」実行委員会の方から出版依頼があったのは2013年の11月末。

なんだか断る理由もなく、引き受けたのは良いものの12月、1月は仕事が忙しい事もあり、

1月中旬に仕事が少し落ち着いたにもかかわらず、原稿を書くモチベーションが全く沸いて来ず、気が付けば原稿締め切り(2014年1月31日)の12日前。

只今2014年1月20日18:00過ぎ、やっと原稿を書き始めました。

しかも「あとがき」から。

題材を決めかねて、何を書こうか悩んではいたものの

自分の過去のMISX日記を読み返しているうちに完全に「北の国から遺言」の五郎さん状態に…。

ドラマ中、五郎さんが酔っ払って遺言を書こうとするのだが思い出が溢れ出てきて号泣してしまい、書くどころでは無くなり、終いにはその紙で鼻をかんでしまうというシーン。

そんな状態が、数日あった事は隠さず記しておきたいと思います。

なんとか原稿を書き終えたのは、締め切り当日。最後の最後になって公に自らを晒すことにめっちゃくちゃ抵抗が感じられたが時既に遅し。

早く原稿を担当者へ送らなければ…。

プロフィール

堀川弘幸 北海道磯谷郡蘭越町蘭越町生まれ

「羊の皮を被った羊」「遅咲きの盆栽、いや凡才」。音楽”と”おいしいもの”をこよなく愛する道産子。30歳過ぎて8年間勤めたエンジニア職を辞め夢を追いかけている（決して現実逃避だと本人は思っていない）顔に似合わず、繊細でガラスのような心をもつ（と本人は勝手に思っている）。最近はさまあーずの三村さんに憧れている。

音楽はアメリカ、車はヨーロッパ、食は万国、女性は日本
お笑いに関西、を主に好む。 A型・蟹座。

【好きな音楽】;パールジャム ブライアンアダムス エリッククラプトン シェリルクロウ U2 メガデス ベビーフェイス 柴田淳 E L T スピッツ 奥田民生 スガシカオ

【好きなギタリスト】;エリッククラプトン、ジョンサイクス、“ZAKK” ワイルド、スラッシュ&イジーストラドリン、リッチーコックツェン、ジミヘンドリクス、ヌーノベッテンコート、CHAR、マイクマクレディー&ストーンゴッサード

【好きなテレビ番組】;モヤモヤさまあーず2、きょうの料理、ザ・プロフェッショナル、アメトーク、、おぎやはぎの愛車遍歴 たかじんのそこまで言って委員会 吉田類の酒場放浪記

【好きな食べ物・飲み物】;ビール ブラックコーヒー マグロ ホルモン エンガワ ダックワーズ カップヌードル 山頭火の塩ラーメン マツタケ土瓶蒸し ミートソーススパゲティ 母親の作るドライカレー アイスクリームの PINO 他多数

「Like A Rolling Cake」

2014年3月1日 初版発行

著者：堀川弘幸

出版：らんこし作家デビュー・プロジェクト